

例へハ運送状及貨物引換證ノ如キモノナキカ(日本商法第三百三十二條及第三百三十三條ヲ參照セヨ)運送品カ不可抗力ニ因リテ滅失シタルトキニ於テモ運送人ハ其運送貨ヲ請求スルコトヲ得ルヤ否ヤ運送人ノ責任如何(日本商法第三百三十七條ヲ參照セヨ)又貨幣又ハ高價品ニ付テハ荷送人カ其何品タルコト及其價格ヲ明告セサレハ運送人ニ責任ナキカ如キ慣習ナキカ二人以上ノ運送人相次テ運送ヲ爲ス場合ニ於テ其各自ノ責任如何又荷送人ハ運送ノ中止運送品ノ返還其他ノ處分ヲ請求スルコトヲ得ルヤ否ヤ運送人ノ責任ハ荷受人カ異議ナク運送品ヲ受取り且運送貨ヲ支拂ヒタルトキハ消滅スヘキヤ否ヤ(後ノ海運ノ項ヲ參看セヨ)

従前ニ於テハ客主又ハ旅閣カ副業トシテ物品ノ運送ヲ爲スコト多カリシモ陸上ニ於ケル物品ノ運送ヲ專業トスル者殆トナク僅ニ河川ニ依ル運送ヲ爲ス者アリシニ過キサカカ如シ

荷送人カ運送ヲ委託スル場合ニハ荷受人ニ宛テタル書簡ヲ運送人ニ託送シ其書簡ニハ物品ノ種類數量價額等ヲ記スラ例トシ而シテ運送人ハ荷送人ニ對シ運送品ノ種類數量送先運賃等ヲ記シタル書面ヲ交付スルヲ例トシ之ヲ掌記又ハ都録ト稱ス然レトモ之ト引換ニ運送品ヲ荷受人其他ノ者ニ交付スルカ如キ慣習ナシ運送貨ハ其半額ノ前渡ヲ爲シ著荷ノ上其殘餘ヲ支拂フヲ通例トスルモ全部前渡ヲ爲スコトアリ又著荷ノ上之ヲ支拂フコトアリ必スシモ一定セス而シテ運送品ノ全部又ハ一部カ天災其他ノ不可抗力ニ因リ滅失シタル場合ニハ運送人ハ其割合ニ應シ運賃ノ減額ヲ爲スモノトス又運送人若ク

ハ其使用人ノ過失又ハ故意ニ因リ運送品ノ滅失毀損ヲ生シタル場合ニハ運送人ハ賠償ノ責ヲ負ハサルヘカラス然レトモ貨幣其他高價品ニ付テハ荷送人ニ於テ特ニ之ヲ明告シタル場合ニ非サレハ運送人ハ滅失毀損ニ付テノ責ヲ負ハス而シテ二人以上相次テ運送ヲ爲シタル場合ニハ運送品ノ滅失毀損ヲ生セシメタル運送人カ責ヲ負フコト勿論ナリト雖モ荷送人ハ運送ヲ委託シタル運送人ニ對シ之カ賠償ヲ求ムルコトヲ得ヘシ又運送人ハ運送ノ中止運送品ノ返還其他ノ處分ヲ求ムルコトヲ得ヘク而シテ運送人ノ責任ハ荷受人カ異議ナク運送品ヲ受取り且運送貨ヲ支拂ヒタルトキハ當然消滅ス

第九十四 旅客運送ニ關スル慣習如何

例へハ旅客運送人ノ責任如何就中旅客ノ手荷物ニ對スル責任如何(同上)

從來ニ於テハ旅客ノ運送ヲ業トスル者ハ僅ニ通船業者アリシノミニシテ其旅客ニ對スル責任ニ付テハ慣習上何等定マレル所ナク又旅客ノ手荷物ハ旅客自ラ之ヲ携帶シ監守スヘキモノニシテ運送人ハ之ニ對シ毫モ責任ヲ負フコトナシ然レトモ近時交通機關ノ整備ト共ニ漸次此種ノ營業ヲ爲ス者ヲ生シ運送人ハ惡意又ハ重大ナル過失ニ因リ旅客ニ損害ヲ生シタルトキハ之ヲ賠償スル責任ヲ負ヒ又旅客ヨリ委託ヲ受ケタル手荷物ハ特ニ運送貨ヲ受ケサルトキト雖モ物品運送人ト同一ノ責任ヲ負フ傾向ヲ生セリ

寄託

第九十五 寄託物ニ關スル慣習如何

旅店、飲食店、浴場、其他客ノ來集ヲ目的トスル場屋ノ主人ハ客ヨリ寄託ヲ受ケタル物品ニ付キ如何ナル責任ヲ負フカ又客カ携帶シタル物品ニ付テハ如何又貨幣又ハ高價品ニ付テハ客カ其何品タルコト及其價格ヲ明告セサレハ場屋ノ主人ニ責任ナキカ如キ慣習ナキカ

客ノ來集ヲ目的トスル場屋ハ酒家(居酒屋)歩行客主(旅人宿)馬房(馬夫宿)及料理店ノ類ニシテ浴場ハ從來全ク存セサリシモ近來之ヲ見ルニ至レリ而シテ此等ノ營業者ハ客ノ携帶品ニ付テハ縱令盜難其他ノ事由ニ由リ亡失毀滅スルコトアルモ毫モ責任ヲ負フコトナク唯客ヨリ特ニ寄託ヲ受ケタル物品ニ付テハ天災其他ノ不可抗力ノ場合ノ外其責任ヲ負フモノトス然レトモ貨幣其他高價品ニ付テハ客ハ其品目、價額等ヲ明告シテ寄託スルコトヲ要シ若シ之ヲ明告セサル場合ニ於テハ營業者ハ其責ニ任セサルカ如シ

第一百九六 倉庫營業ニ關スル慣習如何

他人ノ物品ヲ倉庫ニ保管スルヲ營業トスル者ナキカ若シ之アリトセハ預證券ノ如キモノナキカ倉庫營業者ノ責任如何保管期間ノ定ナキトキハ倉庫營業者ハ保管物ヲ返還スルコトヲ得サルカ

朝鮮ニ於テハ舊時ハ專業トシテ倉庫業ヲ營ム者殆トナク大抵客主又ハ旅開ニ於テ兼業トシテ之ヲ營ミタルモノトス然レトモ近年ニ至リテハ稀ニ之ヲ專業トスル者アリ例ヘハ慶尙南道東萊府ニハ第八十五問ニ記シタル會興社ト稱スル倉庫會社アリ又全羅北

道全州ニハ其營業ヲ爲ス者二戸アリ又京城ニハ光武九年九月度支部令第十四號共同倉庫章程ニ依リ設立シタル漢城共同倉庫株式會社アリ忠清南道江景ニハ其出張所アリ其他忠清北道永同全羅南道務安ニモ此種ノ營業ヲ爲スモノアリト云フ而シテ倉庫業ヲ營ム者ハ之ヲ專業トスル場合ト客主ノ兼業タル場合トヲ問ハス預證券ト視ルヘキ證券ヲ寄託者ニ交付スル慣例ニシテ客主ノ作成スルモノハ通例掌記ト稱シ倉庫專業者ノ作成スルモノハ任置票又ハ積置票ト稱シ受託物ノ品目、數量竝ニ受託ノ文言、作成ノ年月日等ヲ記シ受託者記名捺印ヲ爲スヲ普通トシ稀ニハ荷造ノ種類、保管ノ場所、保管料、保管期間等ヲ記載スルコトアリ又大抵寄託者ノ名ヲ記載スルモノ之ヲ記載セサルコトアリ殊ニ共同倉庫會社ノ任置證券ニハ寄託者、品名、個數、番號、包裝種類、總量、一個ノ平均量、入庫ノ日、保管ノ期間、保管ノ場所、保管料、火災保險等ヲ記入シ任置證券タルコトヲ表示シ且其指圖證券タルコトヲ示ス文言ヲ掲ケ受託者ノ記名捺印ヲ爲ス等極メテ詳細ナリ

保管ノ期間ハ之ヲ定ムルコトアリ之ヲ定メサルコトアリ保管ノ期間ヲ定メサル場合ニハ受託者寄託者共ニ何時ニテモ其返還ヲ爲シ又其返還ヲ求ムルコトヲ得ヘク保管ノ期間ヲ定メタル場合ニ付テモ寄託者ハ隨意ニ其返還ヲ求メ且在庫ノ僅ニ力處分ヲ爲スコトヲ得ヘク受託者ハ其期間内ハ之カ返還ヲ爲スコトヲ得サルモノトス

保管料ハ庫賃又ハ庫稅ト稱シ近來ハ保管料ト稱スノモノアリ漢城共同倉庫株式會社ニ於テハ寄託者カ期間滿了後、出庫ヲ爲サス又寄託繼續ノ手續ヲ爲ササルトキハ自後二倍ノ保管料ヲ請求スル約款ヲ附スルコトトセリ

受託者ノ保管ニ付テノ責任ハ天災其他不可抗力ニ因ル保管物ノ滅失毀損ハ何等ノ責ヲ負ハスト雖モ盜難其他過失ニ因ル亡失毀滅ニ對シテハ之カ責任ヲ負フモノトス

第四章 手形

第九十七 手形ニ關スル慣習アルカ

若シ之アリトモハ其種類如何之ニ記載スヘキ事項如何其流通ノ方法如何振出人其他ノ署名者ノ責任如何又引受又ハ之ニ關スルモノアルカ手形ノ支拂ナキトキハ如何ニスルカ

朝鮮ニハ從來於音ナルモノアリ又一ハ魚鱗ト書ス於音ハ金錢ノ支拂ヲ約スル票券ニシテ物ノ代價ヲ支拂フヘキ場合ニ之ヲ作成交付スルコトアリ又借用金ニ付テモ之ヲ以テ借用證書タル手票ニ代フルコトアリ其様式ハ略ホ一定シ大抵長方形ノ小紙片ヲ用ヒ中央ニ債務額竝ニ支拂ノ約束ヲ記載シ左方上部ニ作成ノ年月日下部ニ債務者ノ姓名ヲ記載シ捺印スルヲ通例トシ時トシテハ債務額ト支拂ノ約束トノ中間ニ支拂期日ヲ記入スルコトアリ右方ニ債券者ノ姓名ヲ記載スルコトアリ(之ヲ普通トス)又稀ニハ債務ノ原因ヲ記載スルコトアリ往時ハ之ヲ中央ヨリ兩斷シ債務者ノ記名アル一片ヲ債權者ニ交付シ他ノ一片ヲ債務者自ラ保存スル例ナリシカ近來切斷ヲ爲サス全紙ノ儘債權者ニ交付スルコトトナレリ(債權者及原因ヲ記ス舊時ニ在リテハ唯債務者ノ備考ニ過キサリシカレトス故ニ之ヲ以テ記名式ト視ルコトヲ得ス)

於音ニ支拂期日ヲ記載シタル場合ニハ其期日又ハ其後ニ於テ支拂ヲ求ムヘキコト勿論ナルモ支拂期日ヲ記載セサル場合ニハ何時ニテモ其支拂ヲ求ムルコトヲ得ヘク而シテ支拂期日ハ大抵一市間(五日間即チ六日)若クハ二市間ニシテ長キモ一ヶ月ヲ超ユルコト殆トナシト云フ

於音ノ讓渡ハ債權者ノ姓名ヲ記載シタル場合ト否トヲ問ハス於音ノ交付ニ因リテ效力ヲ生シ裏書ヲ爲スカ如キ慣習ナシ而シテ讓渡ニハ債務者ノ承諾ヲ要セスト雖モ之ヲ讓受ケタル者ニ於テ一應債務者ニ呈示シ果シテ債務者ノ作成交付シタルモノナルヤ否ヤ期限ニ至リ支拂ヲ爲スヤ否ヤヲ確ムルヲ通例トシ(之ヲ踏音ト稱シ稀ニハ債務者ナシトアルコトアリ)若シ債務者カ其成立ヲ否認シ或ハ其支拂ヲ諾セサルトキハ讓受人ハ之ヲ讓渡人ニ返戻シ其讓受ヲ取消スコトヲ得ルモノトス此ノ如クニシテ於音ハ順次轉帳スルモノナリト雖モ支拂期限長カラサルヲ以テ一回若クハ二回ノ讓渡ニ過キサルヲ通例トシ而シテ又特ニ其讓渡ヲ禁スルカ如キコト絶テナシ

期限ニ至リ於音ノ所持人カ其支拂ヲ求ムルニハ於音ヲ債務者ニ呈示シ之ト引換ニ支拂ヲ受クルモノトス此場合ニ於テ債務者ハ踏音ノ手續ヲ經サリシコトヲ理由トシテ支拂ヲ拒ムコトヲ得ス又一部ノ辨濟ト雖モ所持人ニ於テ之ヲ拒ムコトヲ得ス其支拂ヲ受ケタルトキハ受領證書ヲ交付シ又ハ於音ニ之ヲ記入スルヲ例トス而シテ債務者カ支拂ヲ爲ササルトキハ所持人ハ直接ノ讓渡人ニ對シ其支拂ヲ求ムルコトヲ得ヘシト雖モ若シ其讓渡人カ支拂ヲ爲ササルトキハ其前讓渡人ニ對シ請求ヲ爲スコトヲ得ス讓渡人カ支

拂ヲ爲シタルトキハ其ノ讓渡人ハ更ニ直接ノ讓渡人ニ請求シ結局債務者ニ廻ルモノト
ス而シテ期限後ノ利息ヲ請求スル慣習ナシ

於音ノ引受又ハ擔保ニ付テハ慣習ノ見ルヘキモノナシ

於音ヲ典當ノ目的ト爲スニハ之ヲ債權證書タル手票ニ添ヘテ債權者ニ交付シ又手票ナ

キ場合ニハ於音ノミヲ交付スルモノトス(債務者ノ承諾ヲ要セス又音)而シテ債權ノ期

限ニ至リ債務者カ債務ヲ辨濟セサルトキハ典當權者ハ直接於音ノ支拂ヲ請求スルコト

ヲ得ヘク其支拂ヲ受ケタルトキハ超過額ハ之ヲ債權者ニ返還シ不足額ハ之ヲ追求スル

コトヲ得ルモ初ヨリ額面ニ於テ債權額ニ不足セル於音ヲ典當トシテ承クルコトナシ

於音ノ外別ニ換簡ナルモノアリ金錢ノ支拂ヲ委託スル手簡ニシテ例ヘハ釜山ノ人京城

ニ於テ受取リタル金錢ヲ釜山ニ携帶スル不便ヲ避クルタメ之ヲ京城ノ客主ニ寄託シ釜

山ノ客主ニ宛テタル換簡ヲ受取リ釜山ニ於テ現金ヲ受取ルコトアリ又京城ノ商人甲ナ

ル者仁川ノ商人乙ナル者ヨリ受取ルヘキ金錢アリ同時ニ丙ナル者ニ對シ金錢ヲ支拂フ

必要アル場合ニ乙ヲシテ之カ支拂ヲ爲サシムルタメ乙ニ宛テタル換簡ヲ作成シ丙ニ交

付スルコトアリ而シテ換簡ハ常ニ封書ヲ以テシ單ニ書簡ノミヲ封入スル場合ト書簡ノ

外於音ヲ封入スル場合トアリ(於音ヲ封入シタル場合ニハ換簡ニ依リ支拂ヲ爲シタル者

其名宛人ニ對シ債務ヲ有セザル)又其支拂ニ期限ヲ附スルモノアリ附セザルモノアリ期

限ノ定アルモノヲ有期換ト稱シ期限ノ定ナキモノヲ無期換ト稱ス

換簡ヲ受取リタル者ハ期限ノ定アル場合ニハ期限到來ノ後又期限ノ定ナキ場合ニハ何

時ニテモ之ヲ名宛人ニ呈示シテ其支拂ヲ求ムルコトヲ得ヘク若シ支拂人ニ於テ之カ支
拂ヲ拒絶スル場合ニハ封皮ニ「退」ノ字ヲ書シ捺印スル慣例ニシテ此場合ニ於テハ換簡ノ
受取人ハ換簡ノ作成者タル債務者ニ對シ其金額及費用ヲ辨償セシムルコトヲ得ヘシ而
シテ換簡ノ讓渡ハ多ク其例ヲ見スト雖モ交付讓渡ヲ認メ且讓渡人ニ遡及シテ償還ヲ求
ムルコトヲ得ルモノノ如シ
於音及換簡ノ様式左ノ如シ

於音一

錢文幾 兩出次

何 某

其二

錢文幾 兩出給印

年 月 日

何 某
何 某

其三

錢文幾^印兩何月何日出給事

何 某^印

其四

錢文幾兩何月何日出給次

何 某處

何 某^印

其五

錢文幾^印兩出次

何 某處 債用條

何 某^印

其六

錢文幾^印兩出給事

何 某處 某物代

何 某^印

其七

錢文幾^印兩即出給

何 某條

何 某^印

其八

錢文幾兩某月日出給印

某 物代

何 某^印

仁川港 柵岨
金生員子一宅

入納

木浦南橋洞

黃文九 職

(裏面)

謹封

〔退〕

錢文參仟五百兩此去人處無疑出給事

庚戌五月二十七日

(退字ノ記入及捺印ハ支拂拒絶ノ場合ニ之ヲ爲ス)

(簡文一)

除煩適有債錢五百圓故執用即出給事

年 月 日

姓

名 印

(簡文二)

謹詢日來

兄候萬重仰溯區々弟依昔而已耳弟以某事某地居住某許錢文幾千兩執換上
送同錢到即出給後回示如何餘留不備候上

年 月 日

追換錢於音胎送相去施行焉

案		案	
隆照	隆照	隆照	隆照
年	年	年	年
月	月	月	月
日	日	日	日
船頭		船頭	
船腹		船腹	
住前		住前	
所主		所主	
船價金		船價金	
財務署長		財務署長	

財務署存案

道郡船案

隆照	年	月	日	船身	船長	船頭	船廣	船腹	積載	石數	船身	材身	船名	番號	第	號	號	等	船	所有	者	或	共有	者	氏	名	住	所	所有	者	住	所	船	價	金	財	務	署	長

然ルニ隆照三年法律第一號船舶法ヲ以テ船舶ノ登録手續並ニ船舶ノ國籍證書ヲ定メタ

第百九十九 船舶所有者ノ責任如何

船舶所有者ハ船長其他ノ行爲ニ付キ如何ナル責任ヲ負フカ
船舶所有者ト船長其他ノ船員トノ關係ハ雇傭ノ關係タルコトアリ又共同營業タルコト
アリ或ハ船舶所有者ト船長トカ同一人ナルコトアリ而シテ船長其他ノ船員ノ行爲ニ付
テハ常ニ船舶所有者ノ責任ヲ負フモノトス然レトモ船舶所有者カ船舶ノ所有權其他
ノ權利ヲ債權者ニ委付シテ責任ヲ免ルルカ如キ慣習ナシ

第二百 船舶ノ共有ニ關スル慣習アルカ

若シ之アリトセハ其一般ノ共有ニ關スル慣習ト異ナル點如何(三一ヲ參看セヨ)
船舶共有ハ之ヲ通例船同事ト稱シ共有者ノ船舶ノ利用ニ關スル權利ハ平等ナルヲ通例
トシ時トシテ平等ナラサルコトアリト雖モ大抵共同使用ヲ爲ス例ニシテ唯持分ノ割分
ニ應シ利益ノ分配額ヲ異ニスルニ過キス其利用ノ方法ヲ決スルニ付テハ多少持分ノ價
格ヲ標準トスルコトナキニ非サルモ大抵共有者過半數ノ意見ニ依リ又其利用ニ付テノ
費用稅課等ハ持分ノ割合ニ應シテ負擔シ利益ノ分配損失ノ負擔又持分ノ割合ニ依ルモ
ノトス而シテ損益ノ計算ハ一航海ヲ終ル毎ニ之ヲ爲スヲ普通トシ共有者ハ他ノ共有者
ノ承諾ヲ得スシテ持分ヲ讓渡スコトヲ得スト雖モ若シ他ノ共有者カ讓渡ヲ肯セザルト
キハ其持分ヲ買取ラシムルコトヲ得ヘシ之ヲ要スルニ其共有關係ハ普通ノ共有ノ場合
ト異ナルコトナシ

第二百一 船舶ノ貸借ニ關スル慣習アルカ

若シ之アリトセハ其一般ノ貸借ニ關スル慣習ト異ナル點如何(九六ヲ參看セヨ)
 船舶ノ貸借ニ付テハ著シキ特殊ノ慣習ナク貸借期間ハ或ハ一航海ナルコトアリ或ハ一箇月乃至數箇月ナルコトアリト雖モ一年ヲ超ユルコトナク借賃ハ之ヲ貫錢ト稱シ金錢ヲ以テ支拂フヲ通例トシ期間ノ終ニ支拂フコトアリ期間長期ニ涉ルトキハ稀ニ毎月ニ支拂フ爲スコトアリ慶尙南道東萊地方ニ於テハ海上ヲ航行スル船舶ノ貸借ニ付テハ其半額ノ前拂ヲ爲シ河川ヲ航行スル船舶ニ付テハ全部前拂ヲ爲ス慣例ナリト云フ而シテ借主ハ貸主ノ承諾アルニ非サレハ船舶ノ轉貸ヲ爲スコトヲ得ス貸借ノ期間内ハ互ニ解約ヲ爲スコトヲ得ス借主カ半途ニ解約ヲ爲シタルトキハ一期間ニ對スル借賃ノ全額ヲ支拂フコトヲ要シ又貸借人ノ權利ハ之ヲ第三者ニ對抗スルコトヲ得サルモノノ如ク其期間内ニ於テ所有者ニ變更アリタルトキハ其貸借ヲ繼續スルト否トハ新所有者ノ隨意ナルモ航海中ニ於テハ解約ヲ爲スコトヲ得ス又船舶ノ修繕ハ貸借人ノ負擔ニシテ唯貸借人ハ船舶ヲ引渡ス前使用ニ必要ナル裝置ヲ爲スコトヲ要スルニ過キス貸借中船舶カ破損滅失シタル場合ニハ其天災ニ因リタルト否トヲ問ハス總テ借主ノ責ニ歸スヘキモノトス

船員

第二百二 船長ニ關スル慣習如何

例ヘハ船長ノ責任如何(日本商法第五百五十八條乃至第五百六十一條及第五百六十

三條ヲ參照セヨ)又船長カ備フヘキ書類ナキカ(同第五百六十二條ヲ參照セヨ)船長ノ權限如何(第五百六十六條乃至第五百七十二條ヲ參照セヨ)又船舶所有者ハ何時ニテモ船長ヲ解任スルコトヲ得ルヤ否ヤ

船長ハ沙工ト稱シ而シテ船長ハ自己ノ故意又ハ過失ニ因リ船舶所有者備船者荷送人其他ノ者ニ損害ヲ加ヘタルトキハ之カ賠償ノ責任アリト雖モ船長トナル者ハ通例資力ナキ者ナルヲ以テ唯責任アリト云フニ止マリ實際賠償ヲ爲スカ如キコトナシ又船員ノ行為ニ付テハ船長ニ責任アリヤ否ヤ慣習上判然定マレル所ナシト雖モ通例其責ヲ負ハサルモノノ如シ
 船長カ船中ニ備フヘキ書類ニ付テモ慣習上一定セル所ナク唯通例船員名簿、船舶附屬品目録、船票、積荷ニ關スル書類等ヲ備フルカ如シ
 船長ノ權限ニ付テモ判然タル慣習アルニ非スト雖モ船員ノ雇入、雇止ヲ爲シ又船舶ノ修繕、救援、救助ノ費用其他航海ヲ繼續スルニ必要ナル費用ヲ支辨スルタメ船舶ヲ典當ト爲シ積荷ヲ賣買シ又ハ之ヲ航海ノ用ニ供シ船舶カ航行ニ堪ヘサル場合ニ之ヲ賣却スル等ノ權限ナキカ如シ
 船舶所有者ハ何時ニテモ船長ヲ解雇スルコトヲ得ヘシ

第二百三 海員ニ關スル慣習如何

例ヘハ海員ノ權利義務如何就中海員ノ食料ハ船舶所有者ノ負擔ニ屬スルヤ否ヤ海

員ノ疾病、負傷ノ場合ニ於ケル船舶所有者ノ義務如何海員ノ給料ヲ定ムル方法如何
 一航海ニ付キ給料ヲ定メタル場合ニ於テ航海日數ノ増減ニ因リテ給料ヲ増減スル
 コトナキカ海員死亡ノ場合ニ於ケル船舶所有者ノ義務如何海員雇止ノ原因如何(日
 本商法第五百八十一條乃至第五百八十三條ヲ參照セヨ)海員ノ雇入期間如何海員ノ
 雇止其他契約終了ノ場合ニ於テ船舶所有者ハ其海員ヲ雇入港マテ送還スル義務アル
 ルカ

海員ハ通例水夫又ハ格軍ト稱シ海員多キ場合ニハ領座(水夫ノ首座ニシテ會炊堂炊事係計ナリ)トシテ常トス
 二座、三座等ノ別ヲ立ツルコトアリ而シテ海員ハ給料トシテ一定ノ金額ヲ受クルコト殆
 トナク大抵收益ノ幾分ヲ受クル例ニシテ一航海毎ニ其收益ヲ區別シ其ノ二ヲ船舶所有
 者ノ所得トシ其一ヲ船長以下海員ノ所得トスルヲ普通トス隨テ航海日數ノ増減ニ因リ
 之ヲ増減スルコトナシ又海員ノ食料ハ船舶所有者又ハ傭船者ノ負擔ニシテ收益ノ計算
 ノ際先ツ運賃ヨリ之ヲ控除スルヲ通例トシ海員ノ疾病、負傷等ノ場合ニ於テハ船舶所有
 者ハ德義上之カ治療費ヲ出スコトアリト雖モ慣習上之ヲ支出スルコトヲ必要トスルニ
 非ス又海員死亡ノ場合ニハ一航海間ノ給料ヲ拂ヒ死屍ヲ其家ニ送届クルヲ通例トス海
 員雇止ノ原因ニ付テハ一定ノ慣習ナク海員カ病氣ノタメ職務ヲ執ルニ堪ヘス又職務ヲ
 怠リ其他非行アリタル場合等ニ於テ雇止ヲ爲スコトヲ得ルハ勿論此ノ如キ原因ナキ場
 合ニ於テモ之カ雇止ヲ爲スコトヲ妨ケス但實際ニ於テハ約定期間内ハ已ムヲ得ナル事
 情アルニ非サレハ雇止ヲ爲ササルヲ常トス而シテ海員ノ雇入期間ハ一航海ナルコトア

運送

リ一箇年ナリコトアリ必スシモ一定セス若シ碇泊港以外ニ於テ雇止ヲ受ケタルトキハ
 碇泊港マテ歸還ヲ爲ス費用ヲ請求スルコトヲ得ルモノトス

第二百四 海運ニ關スル慣習如何

陸運ト差異アルカ若シ之アラハ其詳細ヲ調査セヨ(一九三、一九四ヲ參看セヨ)

海上ニ於ケル旅客ノ運送ニハ大抵物品運送ヲ爲ス船舶ニ便乗セシメタルモノニシテ之
 ニ關スル慣習ノ見ルヘキモノナク河川ノ運送ニ付テ記シタル所ト大差ナキカ如シ
 海上ニ於ケル物品運送ニ付テハ荷送人ヨリ荷受人ニ宛テタル書簡ヲ運送人ニ託送スル
 コト陸上運送ノ場合ト異ナラス而シテ運送人ヨリ荷主ニ對シ船載記ナルモノヲ作成交
 付スル例ニシテ之ニ荷物ノ品目、數量、運賃、到達地、作成年月日等ヲ記載シ荷主ノ名宛ト爲
 シ署名捺印ス然レトモ之ト引換ニ運送品ニ荷受人其他ノ者ニ引渡ス慣例ナシ其書式ノ
 一例ヲ示セハ左ノ如シ

船 載 票

一何物數量幾許(船價幾何作定是遣仁川港到著而右物下陸之時若有缺縮
 之弊則船主自爲擔當事

年 月 日

某 前

船主居住	姓	名
沙工居住	姓	名

運賃ノ支拂ハ半額ヲ前拂トシ殘額ハ著荷ノ上之ヲ支拂フヲ例トス運送人ノ責任ニ付テハ自己又ハ使用人ノ過失ニ因リ荷主ニ損害ヲ加ヘタル場合ニハ之ヲ賠償スルコトヲ要シ不可抗力ニ因リ荷主ニ損害ヲ加ヘタル場合ニ於テハ賠償ノ責ヲ負ハス又貨幣其他高價品ニ付テハ荷造人カ其品目價格等ヲ明告シタル場合ニ限リ過失ニ因ル責任ヲ負フモノノ如シ而シテ運送中不可抗力ニ因リ運送品カ滅失シタル場合ニハ運送賃ヲ請求スルコトヲ得ス又二人以上相次テ運送ヲ爲スカ如キ例ハ極メテ少シト雖モ此ノ如キ場合ニ於テハ過失アリタル運送人及第一次ノ運送人其責ニ任スルカ如シ

荷造人ハ運送ノ中止ヲ請求スルコトヲ得ヘシ然レトモ此場合ニ於テハ運賃ノ全額ヲ支拂フコトヲ要スルモノトス

船舶ノ全額又ハ一部ヲ運送契約ノ目的ト爲スコトハ絶無ニ非ス此場合ニ於テハ船舶所有者カ自己ノ過失船員其他使用人ノ惡意重大ナル過失若クハ船舶カ航海ニ堪ヘサルニ因リ備船者又ハ荷主ニ加ヘタル損害ニ付テハ之カ賠償ノ責ヲ負ヒ備船者ハ運送品ノ全部ヲ船積セサルトキト雖モ其發航ヲ請求スルコトヲ得ルト同時ニ之ニ因リテ生シタル

損害ヲ船泊所有者ニ賠償スルコトヲ要シ又備船者カ發航前ニ其契約ヲ解除シタルトキハ運送賃ノ半額ヲ支拂フコトヲ要シ中途ニ於テ備船契約ヲ解除シタル場合ニ於テハ其全額ヲ支拂フコトヲ要ス而シテ船舶所有者ハ船積期間經過後ト雖モ荷物ノ積載ヲ終ハラサル間ハ發航セシムルコトヲ得ス備船料ハ荷物積込ノ時ニ半額ヲ支拂ヒ陸揚ノ時ニ殘部ヲ支拂フヲ例トス

海 損

第二百五 海損ニ關スル慣習アルカ

例ヘハ海難ノ場合ニ於テ船舟又ハ積荷ノ一部ノ危険ヲ免レシムルタメ海中ニ投棄シタル積荷ノ代價ハ危険ヲ免レタル船舶及積荷ノ所有者ニ於テ之ヲ分擔スルカ如キ慣習ナキカ若シ之アリトセハ其詳細ヲ調査セヨ

朝鮮ノ慣習ニ於テハ船舶カ海難ニ遭ヒ積荷ノ危険ヲ免レシムルタメ已ムコトヲ得ス積荷ノ一部ヲ海中ニ投棄シタル場合ニ於テハ其投棄シタル積荷ノ代價ハ各荷主(投棄シタル積荷ノ所有者ヲ)間ニ分擔スルコトヲ要シ而シテ船舶及積荷ノ共同ノ危険ヲ避クルタメニ積荷ノ一部ヲ投棄シタル場合ニ付テモ其損害ノ負擔ハ荷主ニ止マリ船舶所有者ハ之ヲ分擔セスト云フ然レトモ一面ニ於テハ船舶ノ危険ヲ避クルタメニシタル費用ハ船舶所有者ノミノ負擔トシ又荷物ノ危険ヲ免ルルタメニ投棄シタル荷物ノ運賃ハ船舶所有者ノ損失トセルヲ以テ實際上多少分擔ヲ爲ス結果ヲ見ルヘシ

船舶債權者

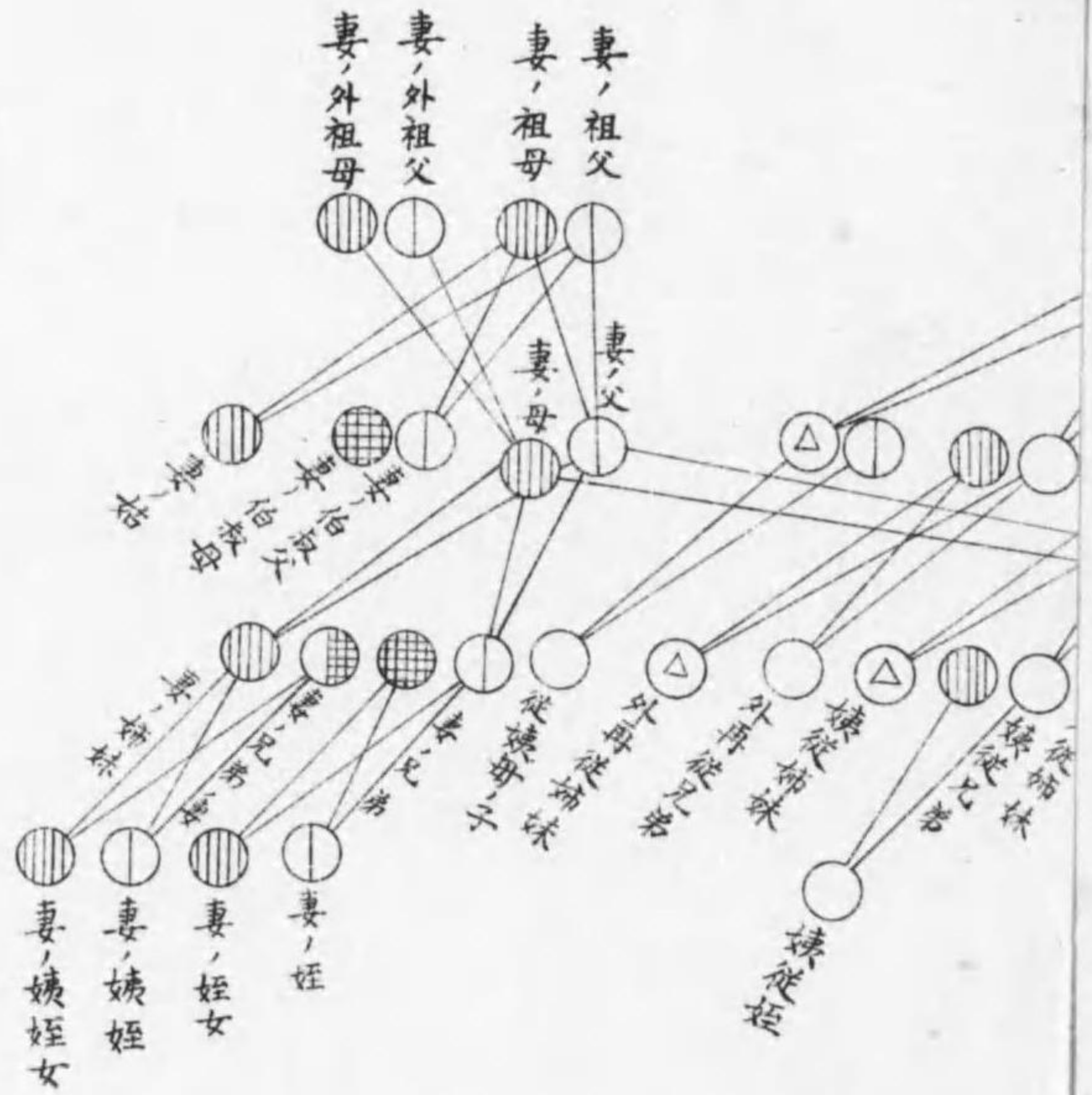
第二百六 船舶債權者ニ關スル慣習アルカ

例ヘハ先取特權ヲ有スル債權者ナキカ又船舶ヲ以テ質權又ハ抵當權ノ目的ト爲スコトヲ得ルカ若シ之ヲ爲シ得ルトセハ他ノ物ヲ以テ其目的ト爲シタル場合ト異ナルコトナキカ(三八乃至五〇ヲ參看セヨ)

船舶債權者ニ先取特權ヲ認ムル慣習ナシ而シテ船舶ハ之ヲ典當ノ目的ト爲スコトヲ得ヘク其手續及效力ニ付テハ家屋ヲ典當ト爲ス場合ト殆ト同一ニシテ第一編第二章第三十八問以下ニ記述シタル如シ

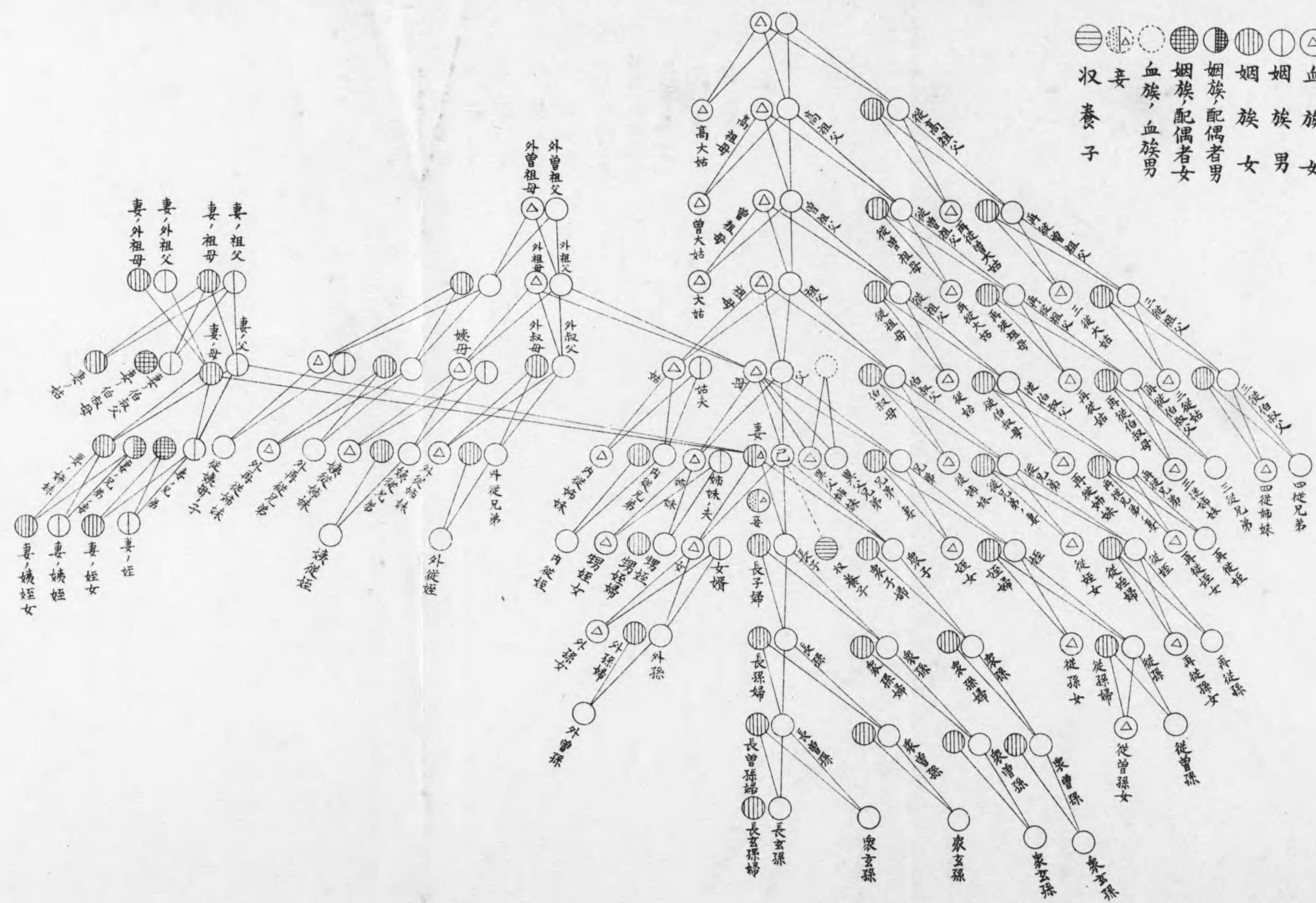
親族圖

(續)ハ血統ヲ示ス



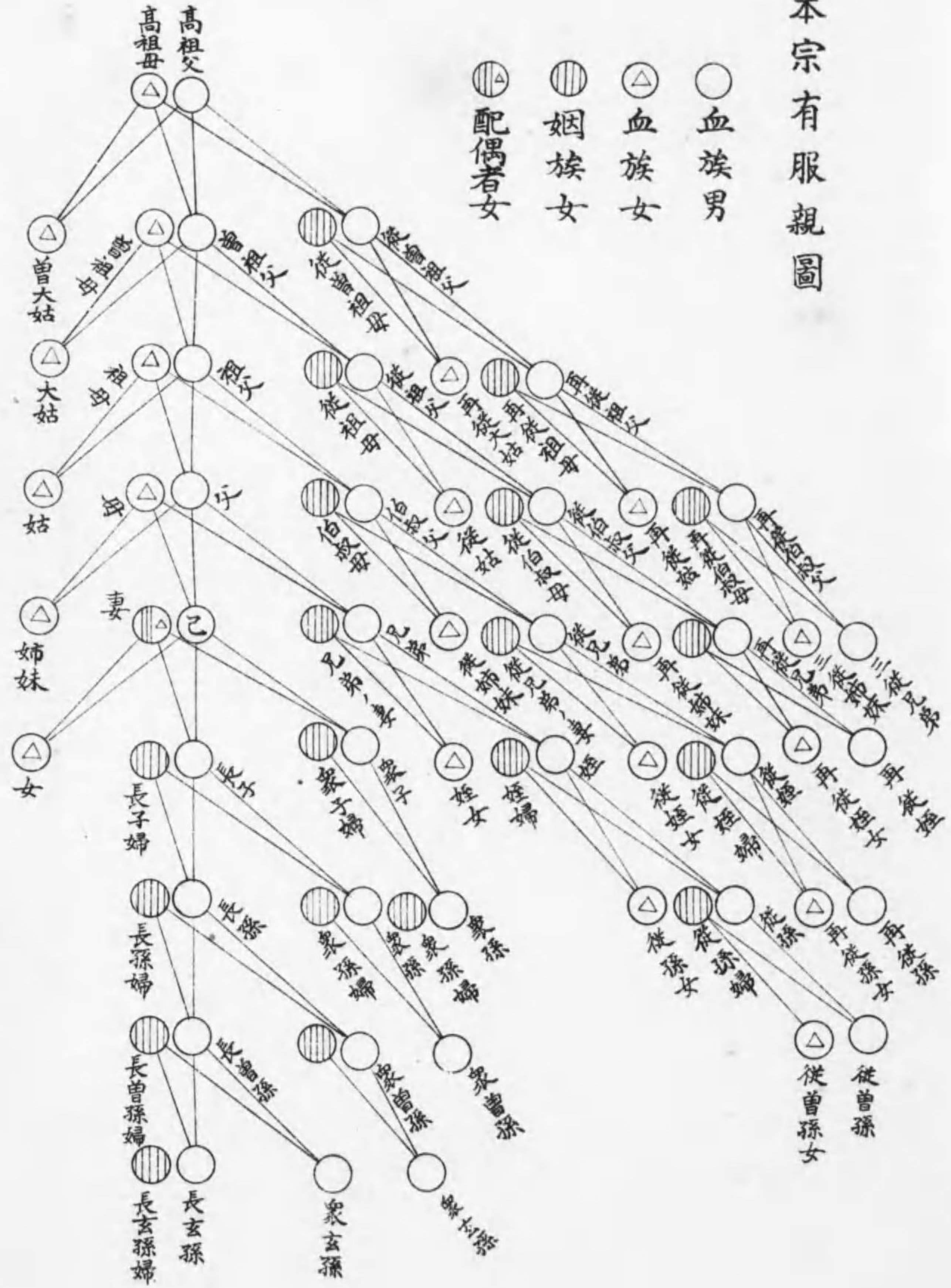
親族圖 (續) 示ハ血統ノ連

- 配偶者女
- 血族男
- 血族女
- 姻族男
- 姻族女
- 姻族配偶者男
- 姻族配偶者女
- 血族、血族男
- 妻
- 收養子



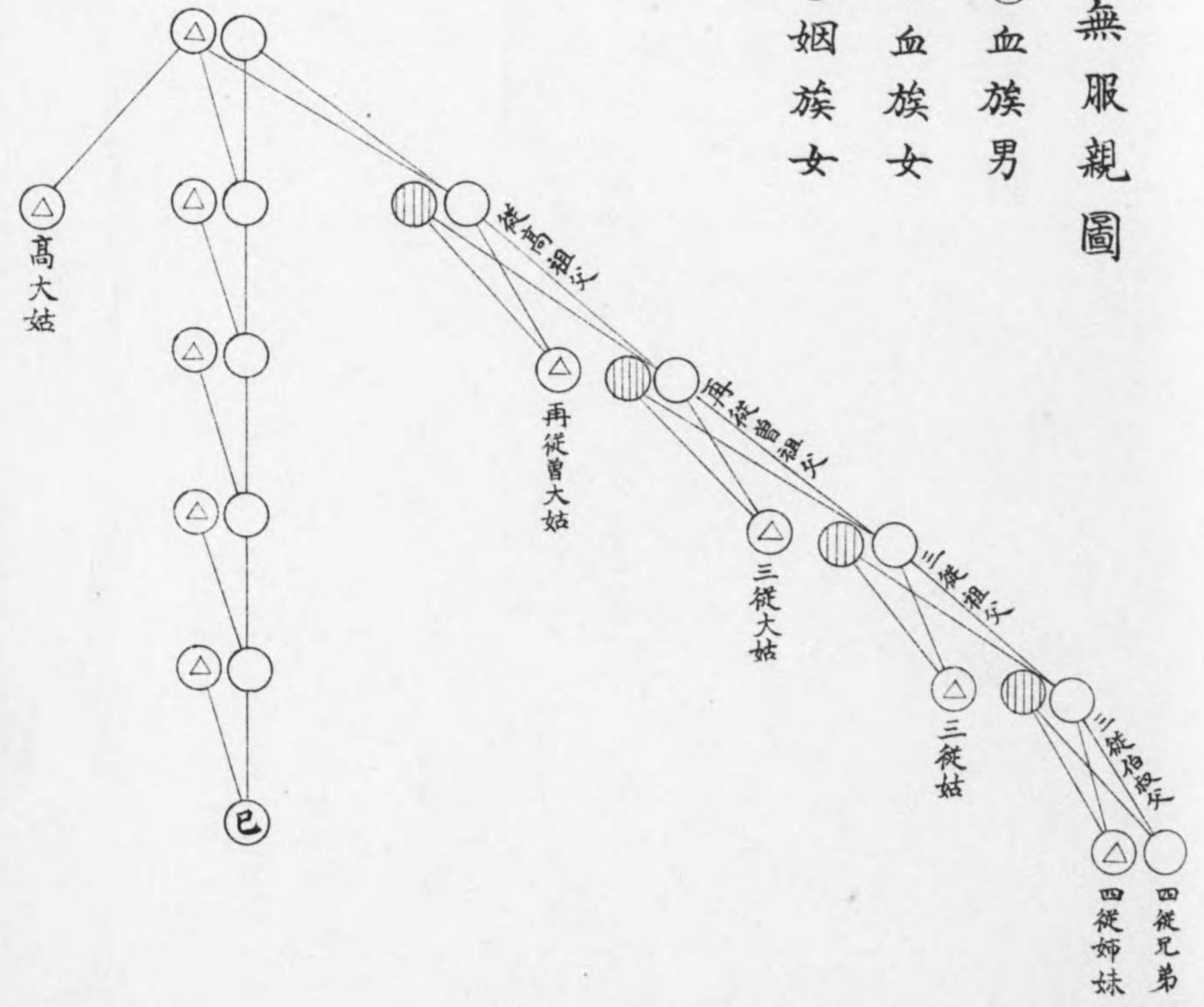
本宗有服親圖

- 血族男
- △ 血族女
- ◐ 姻族女
- ◑ 配偶者女



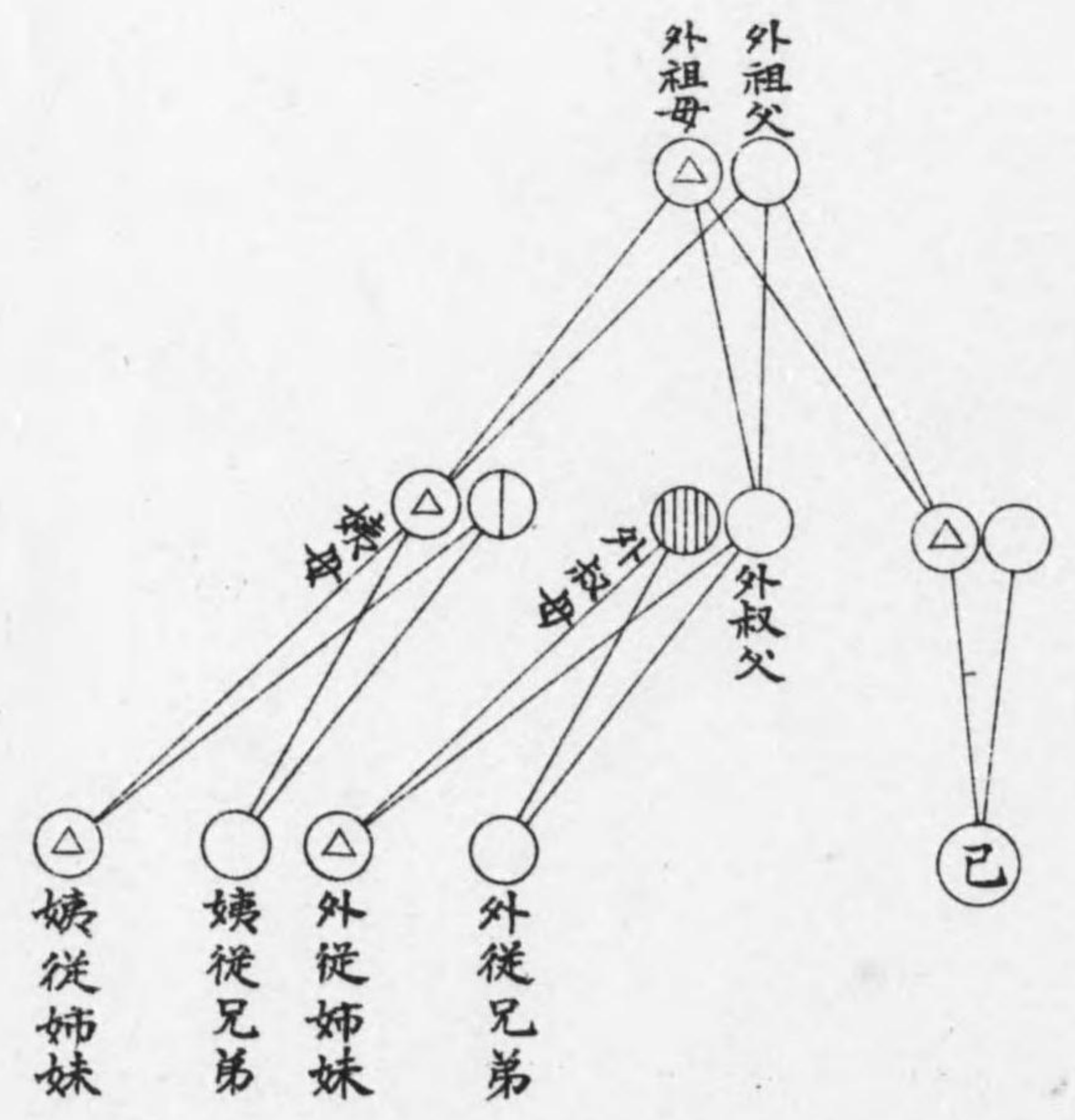
本宗無服親圖

○ 血族男
 △ 血族女
 ⊖ 姻族女



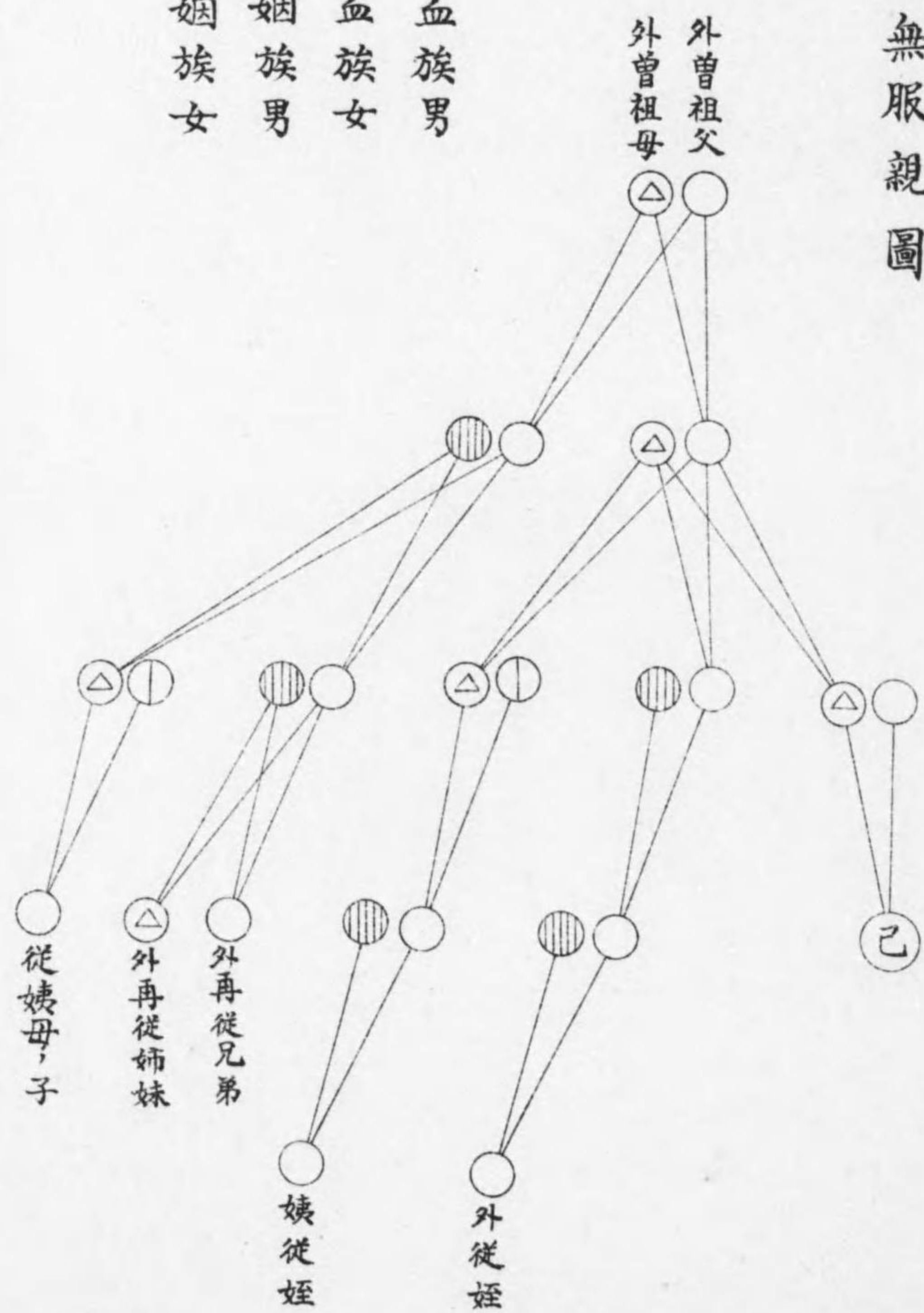
母族有服親圖

- 血族男
- △ 血族女
- ⊖ 姻族男
- ⊗ 姻族女



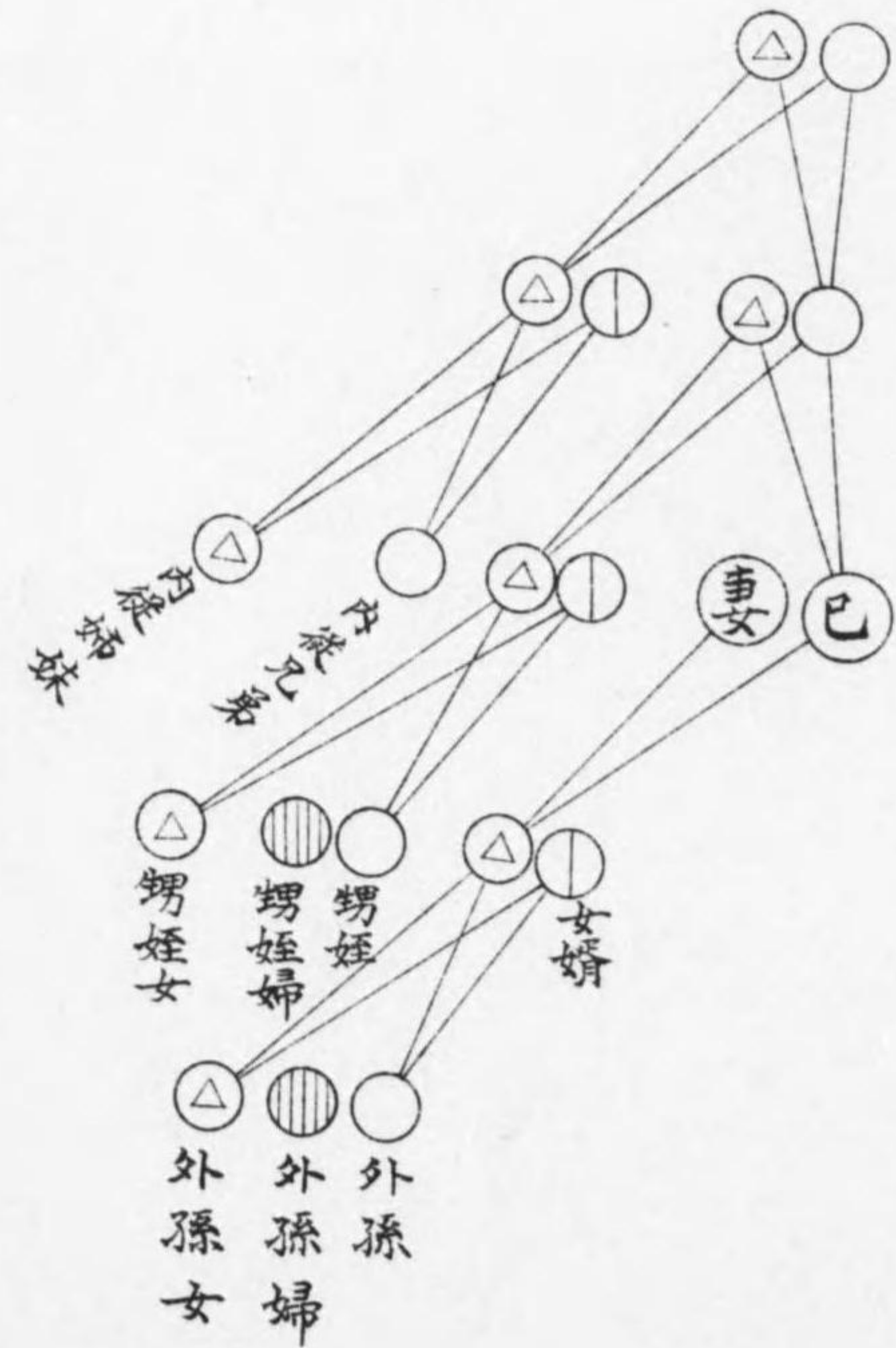
母族無服親圖

- 血族男
- △ 血族女
- ◐ 姻族男
- ◑ 姻族女



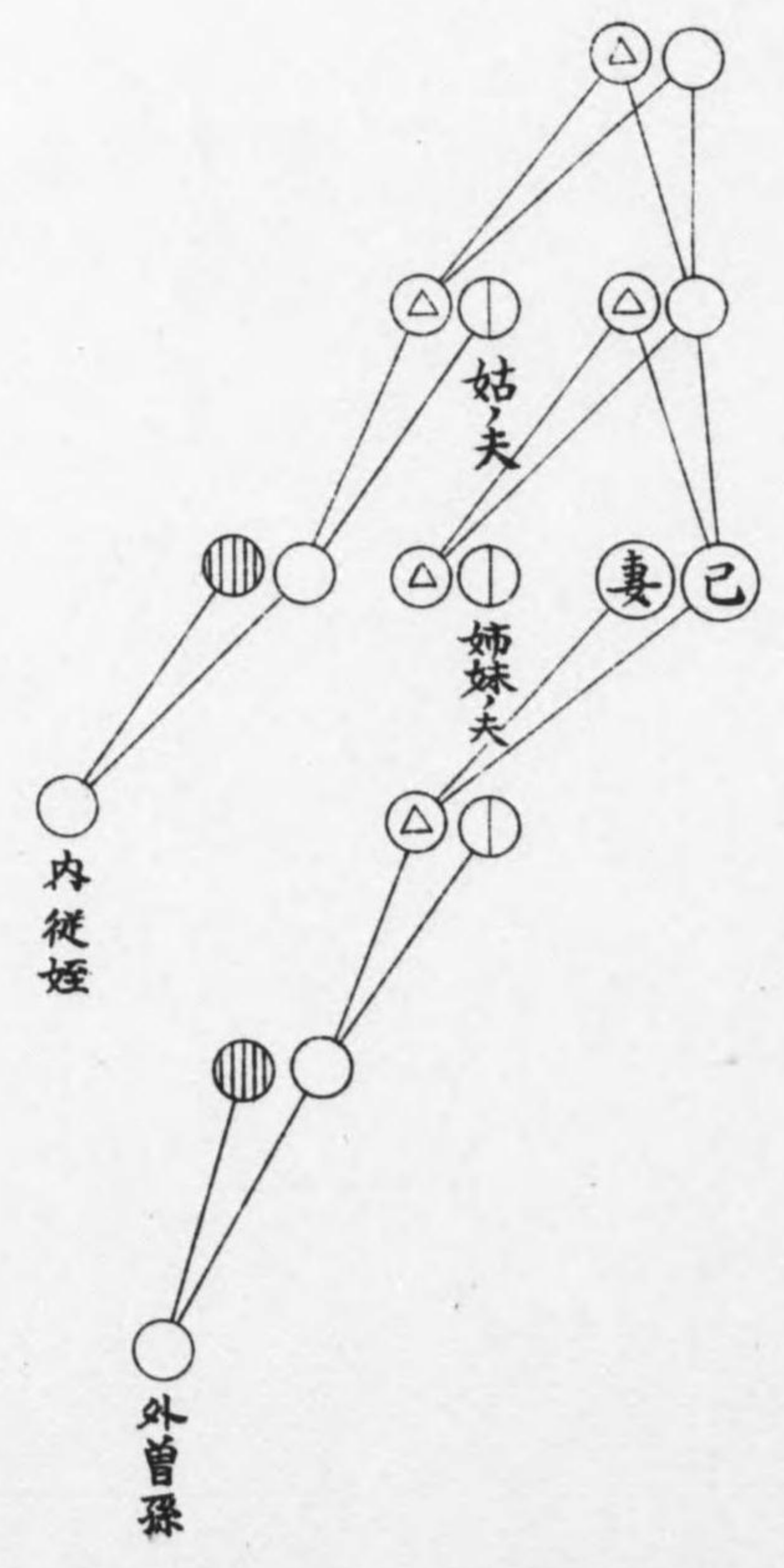
嫁族有服親圖

⊗	○	△	○
姻	姻	血	血
族	族	族	族
女	男	女	男



嫁族無服親圖

- 血族男
- △ 血族女
- ⊖ 姻族男
- ⊗ 姻族女



妻族有服親圖

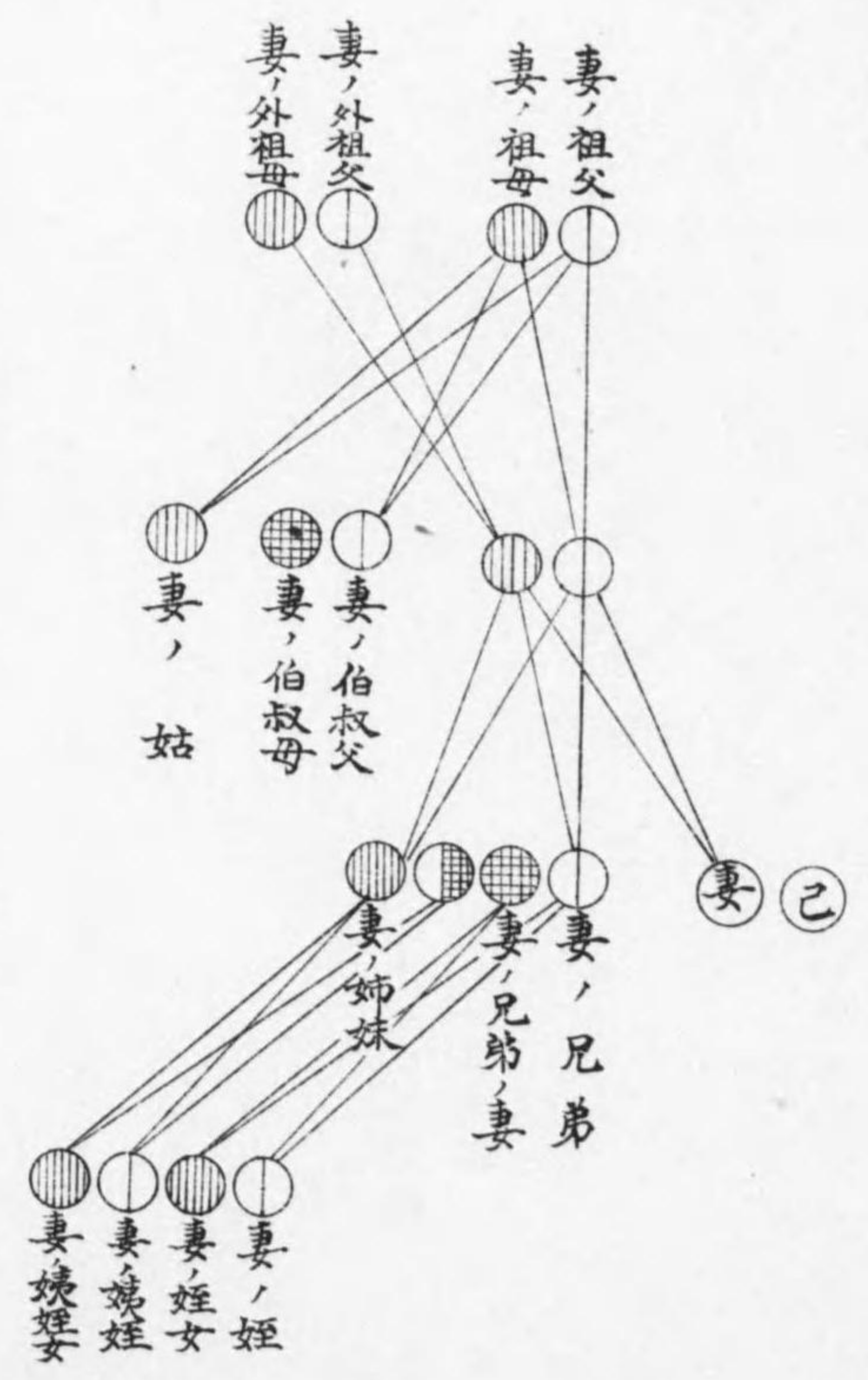
○ 姻族男

● 姻族女



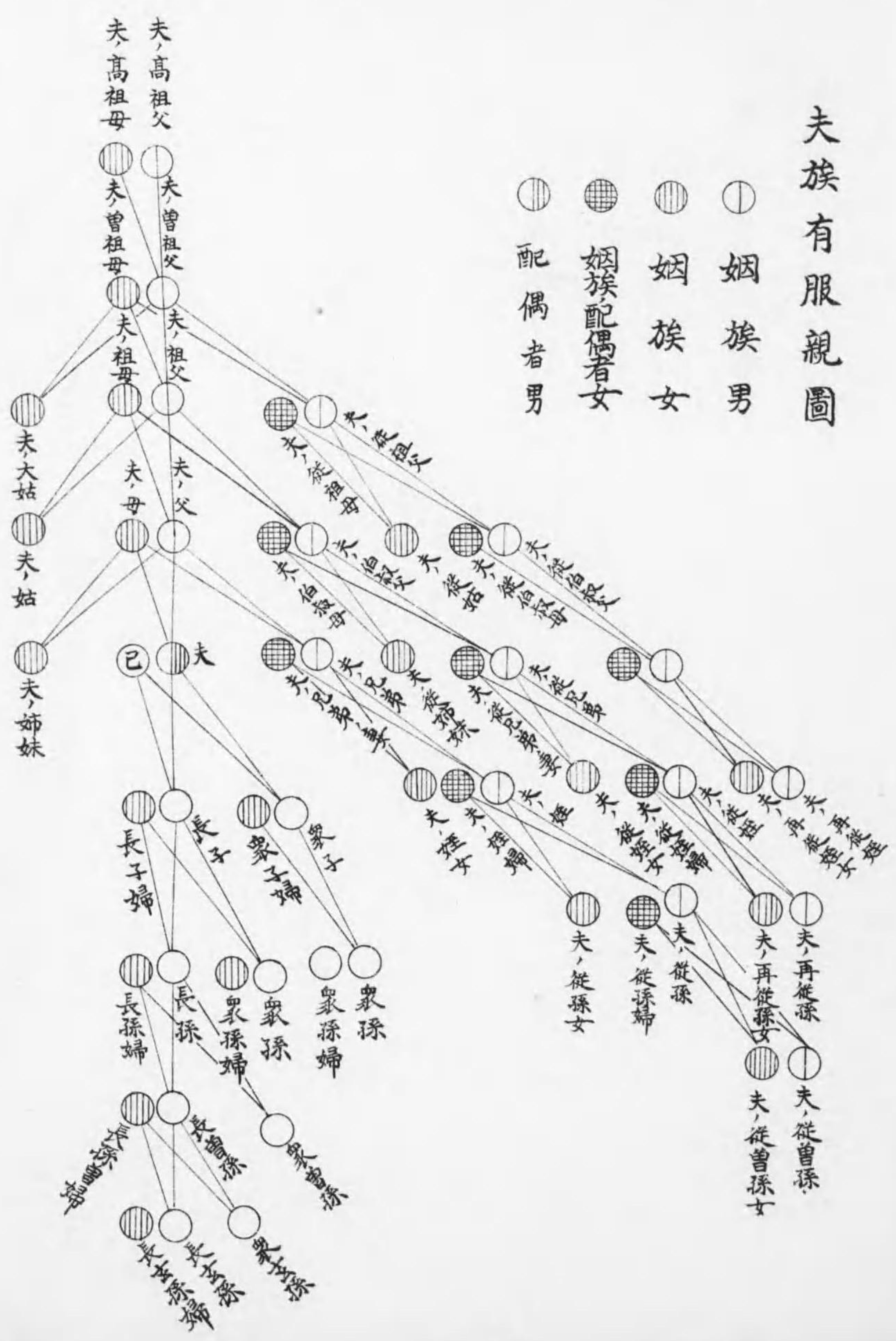
妻族無服親圖

- 姻族男
- ◐ 姻族女
- ◑ 姻族配偶者女
- ◒ 姻族配偶者男



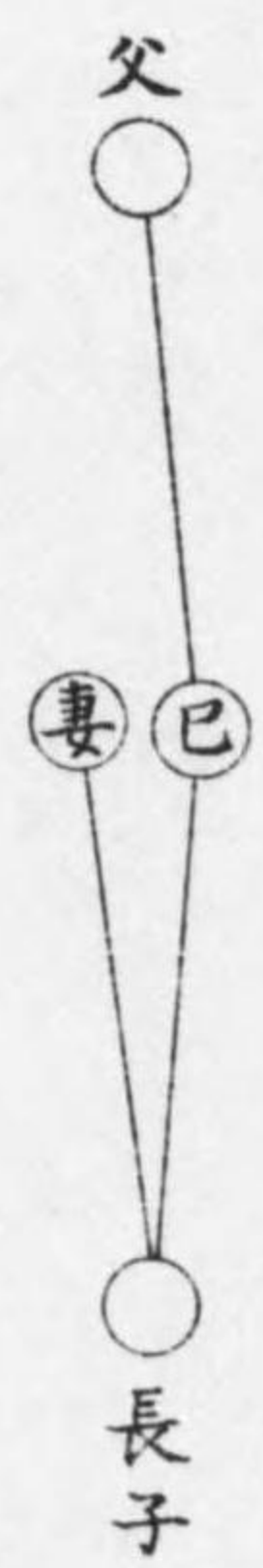
夫族有服親圖

○ 姻族男
 ○ 姻族女
 ● 姻族配偶者女
 ○ 配偶者男



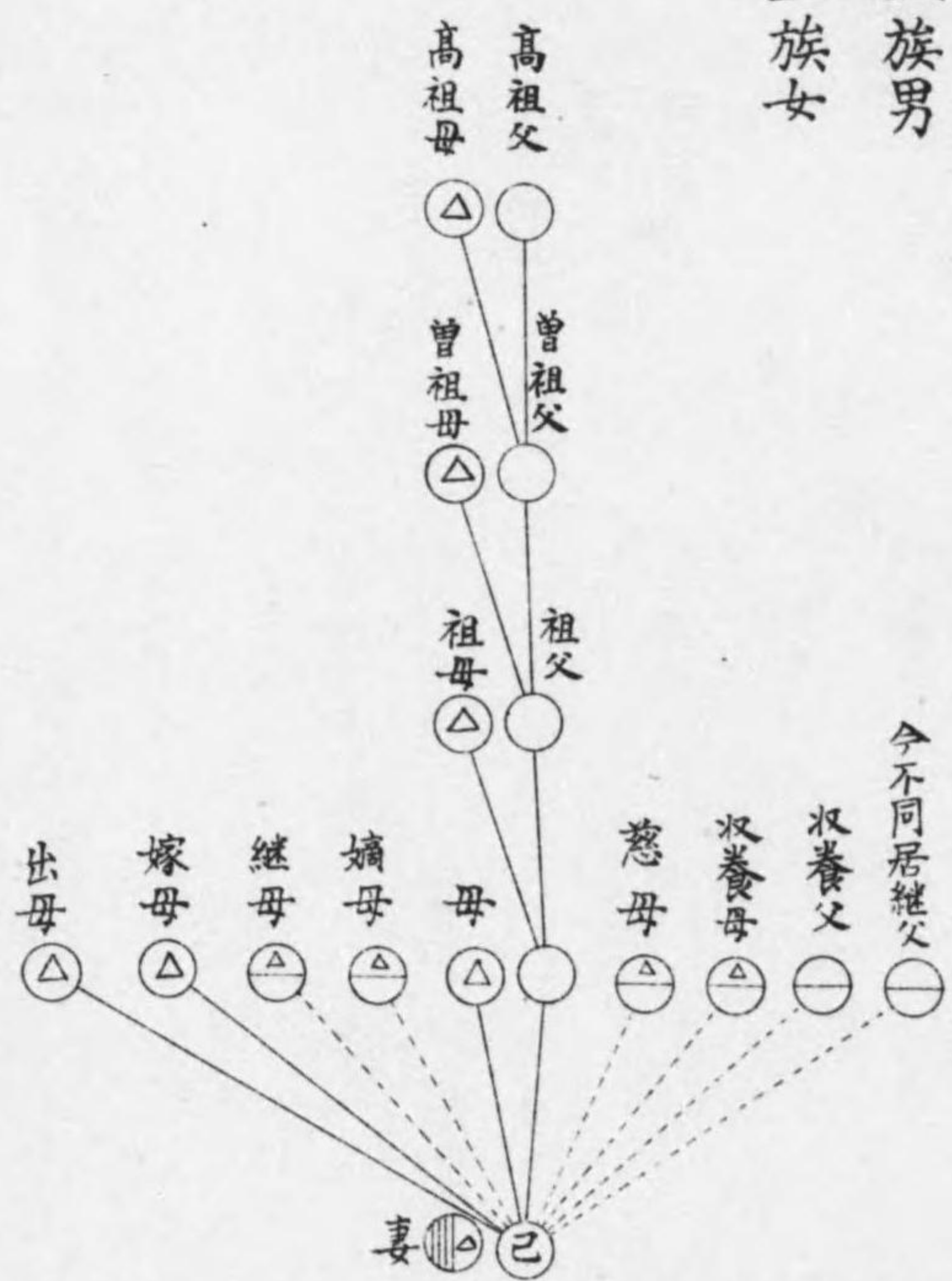
斬衰親圖

○血族男



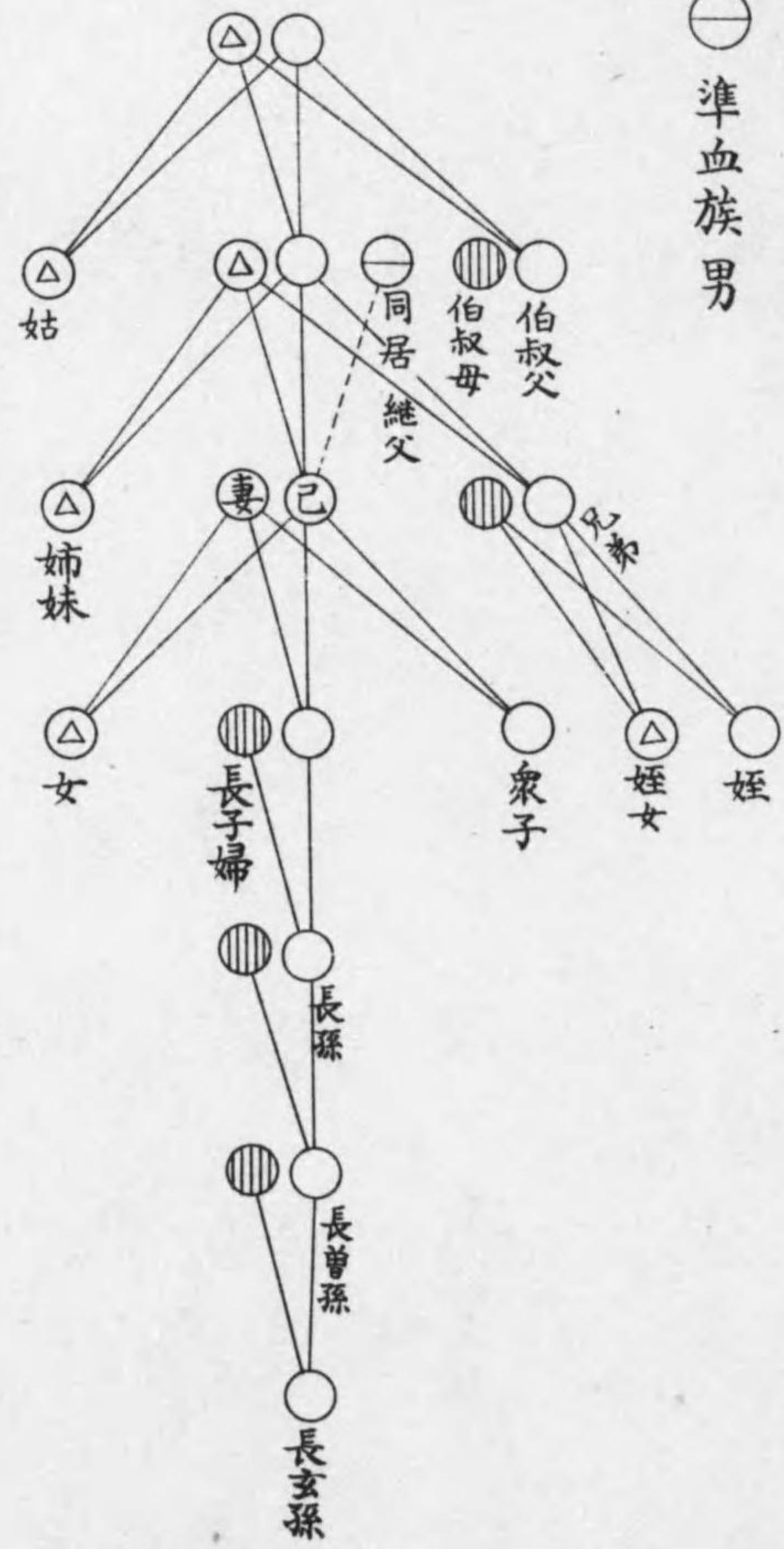
齋衰親圖

- 血族男
- △ 血族女
- ◐ 配偶者女
- ◑ 準血族男
- ◒ 準血族女



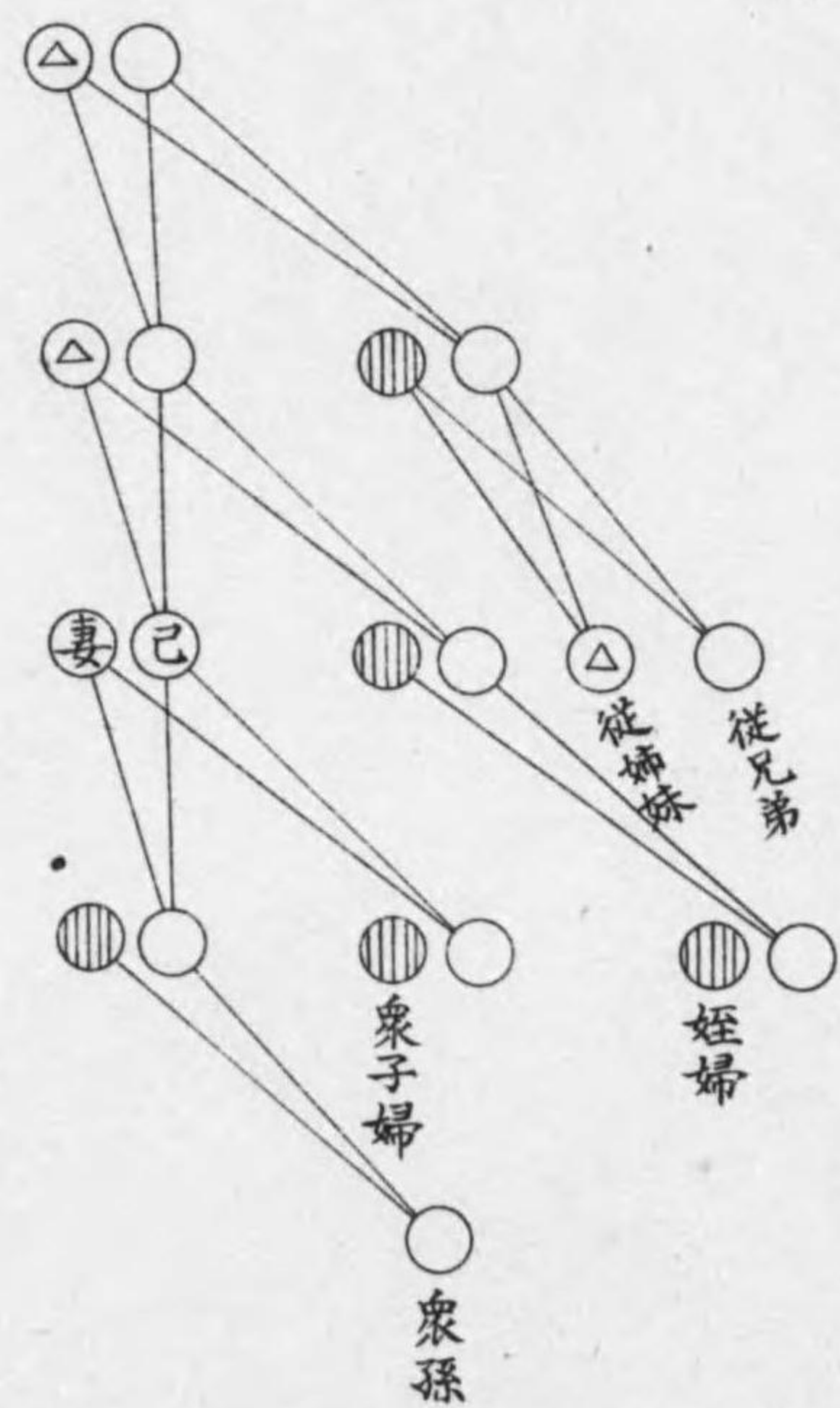
期親圖

○ 血族男
 △ 血族女
 ⊖ 姻族女
 ⊕ 準血族男



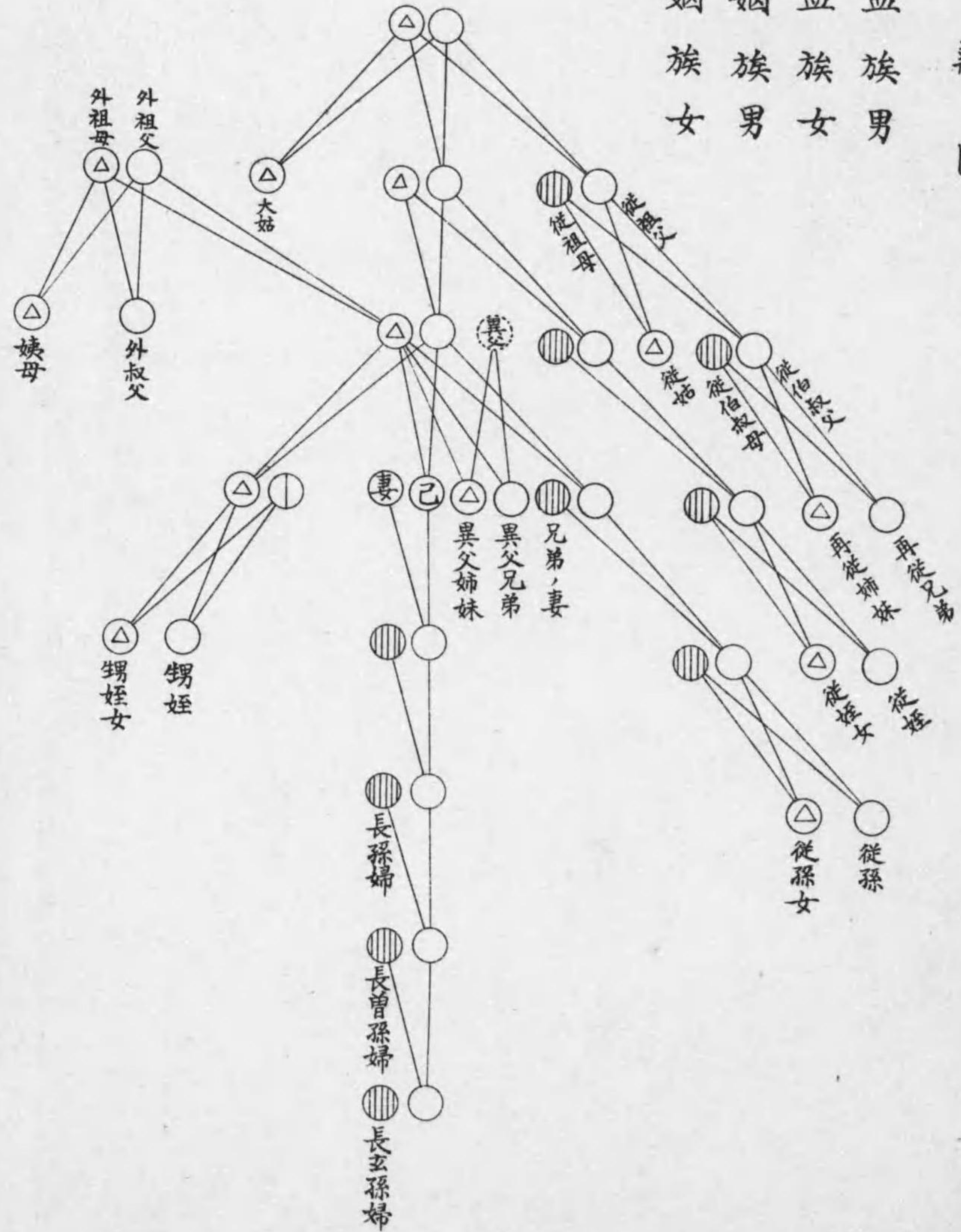
大功親圖

○ 血族男
 △ 血族女
 ⊖ 姻族女



小功親圖

⊙	○	△	○
姻	姻	血	血
族	族	族	族
女	男	女	男

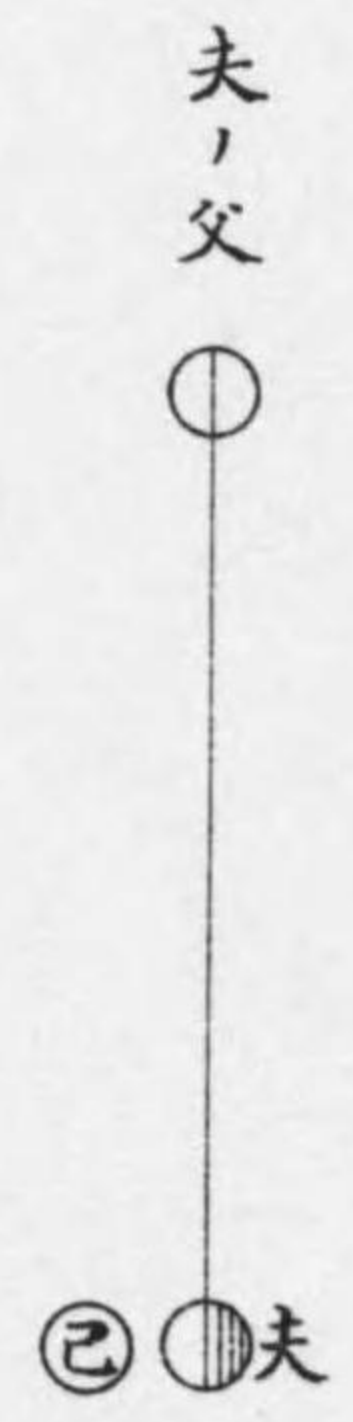


總麻親圖

夫族斬衰圖

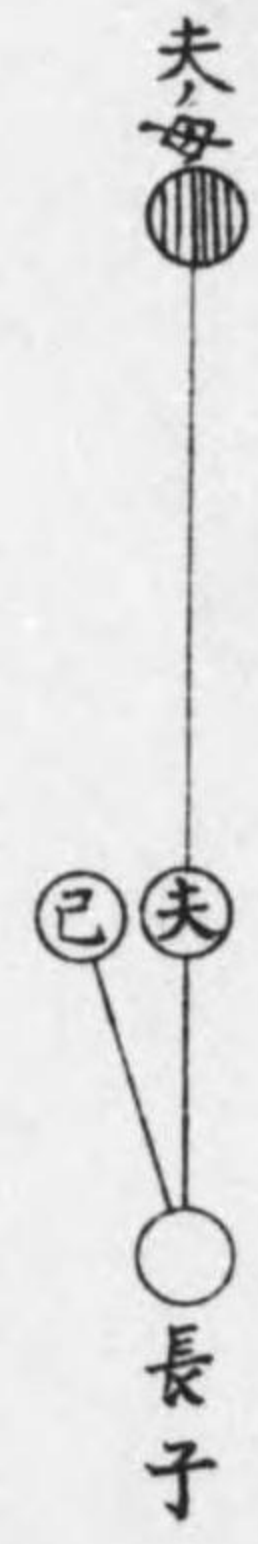
⊙ 配偶者男

○ 姻族男



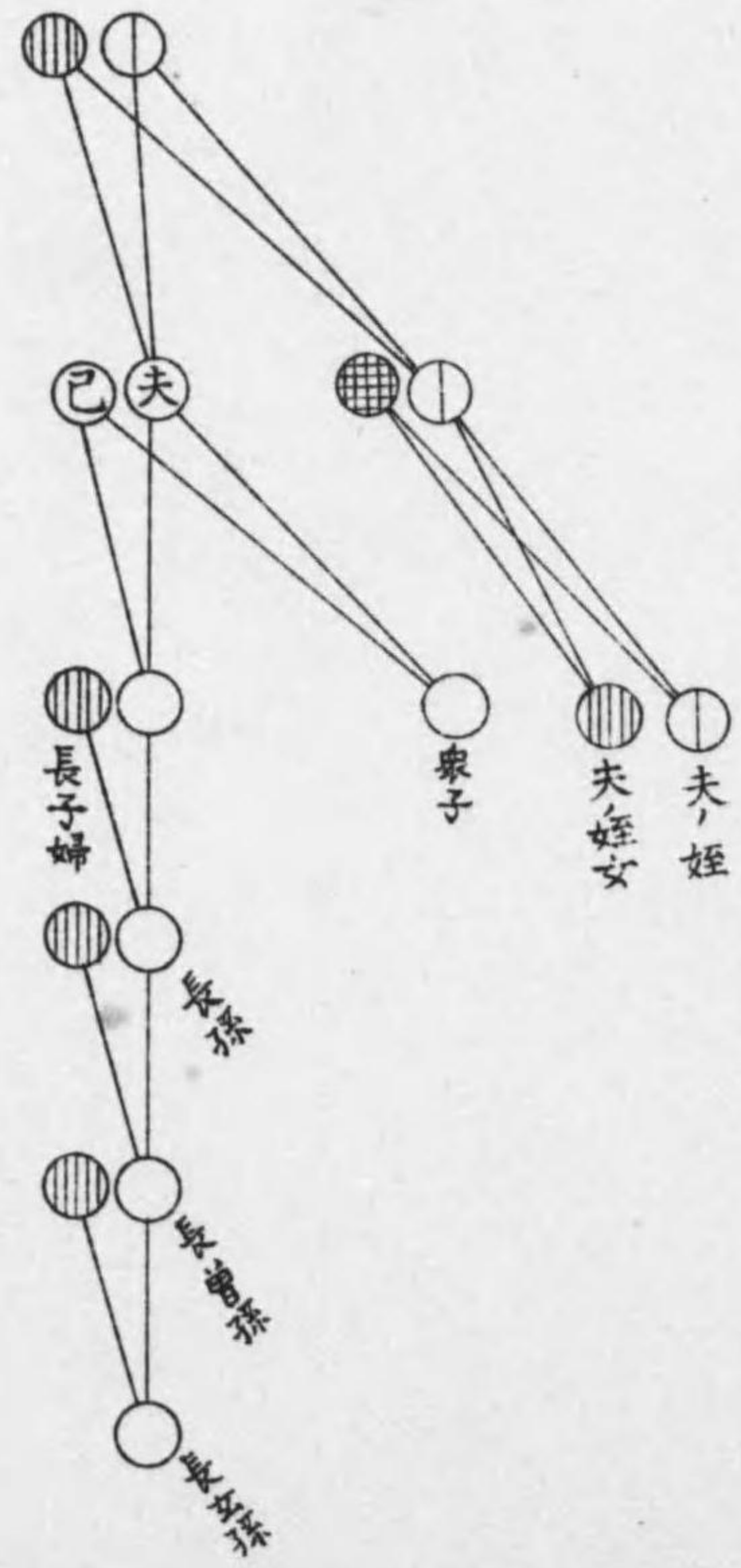
夫族齊衰圖

○ 血族男
● 姻族女



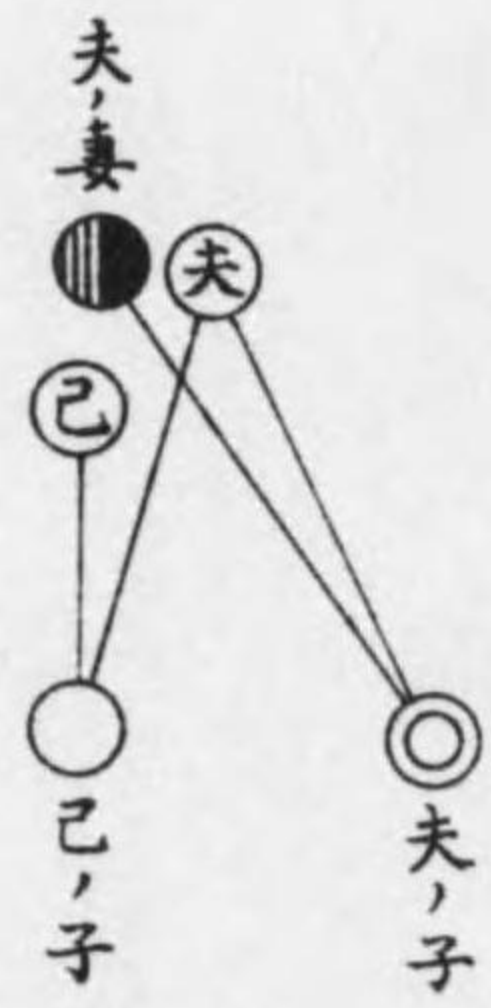
夫族期親圖(一妻)

- 姻族男
- ⊖ 姻族女
- ⊗ 姻族配偶者女
- 血族男



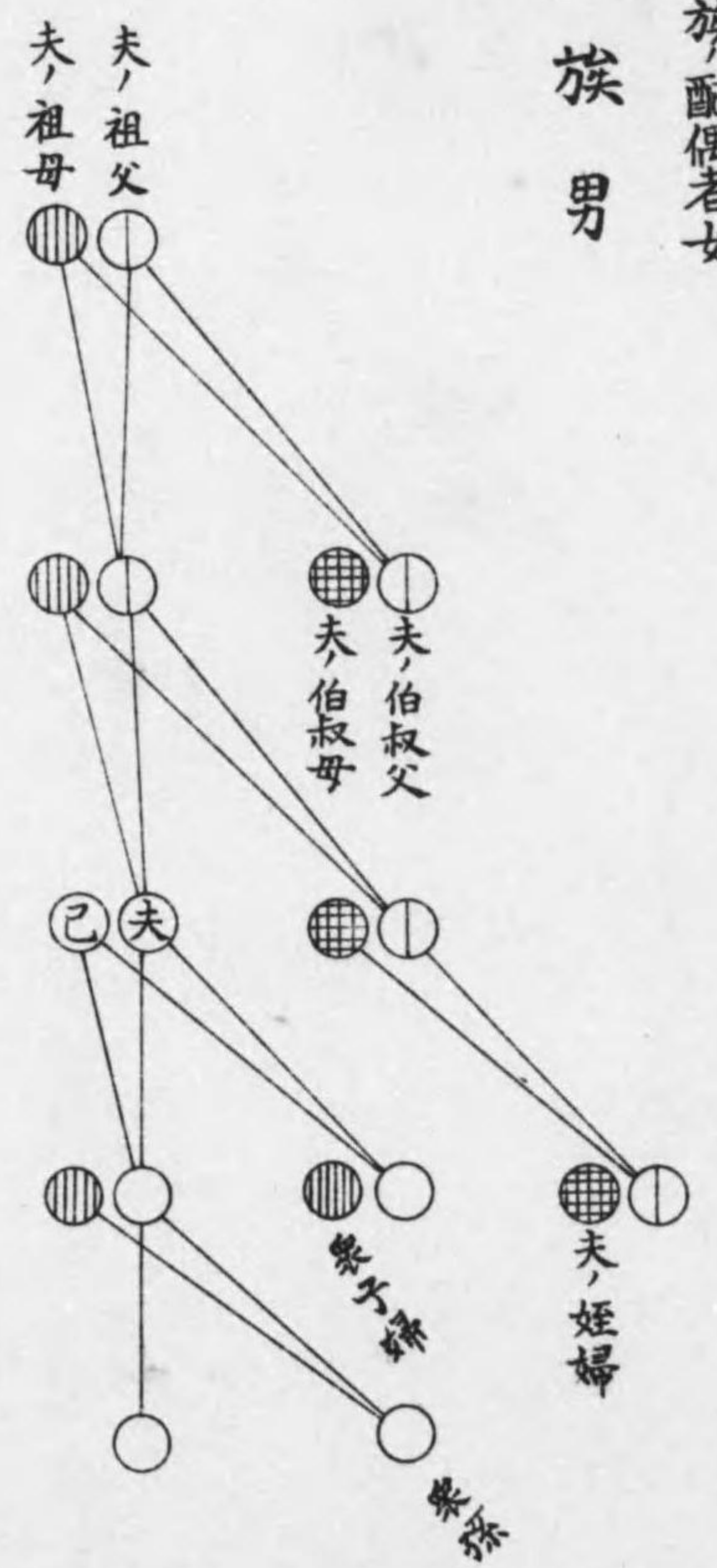
夫族期親圖(二)妻

- 血族男
- 夫ノ配偶者
- ◎ 夫ノ子



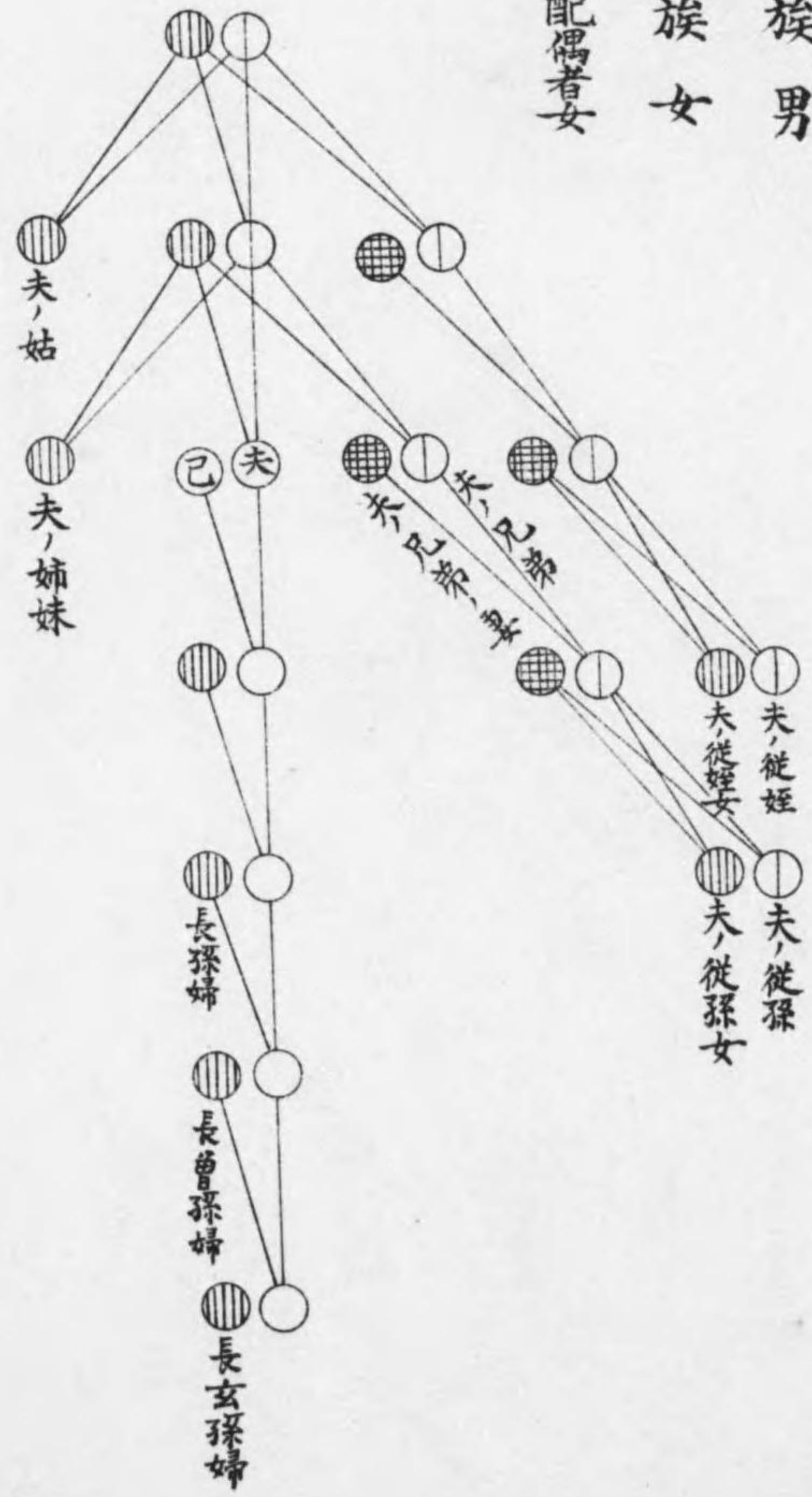
夫族大功親圖

- 姻族男
- ◐ 姻族女
- ◑ 姻族配偶者女
- 血族男



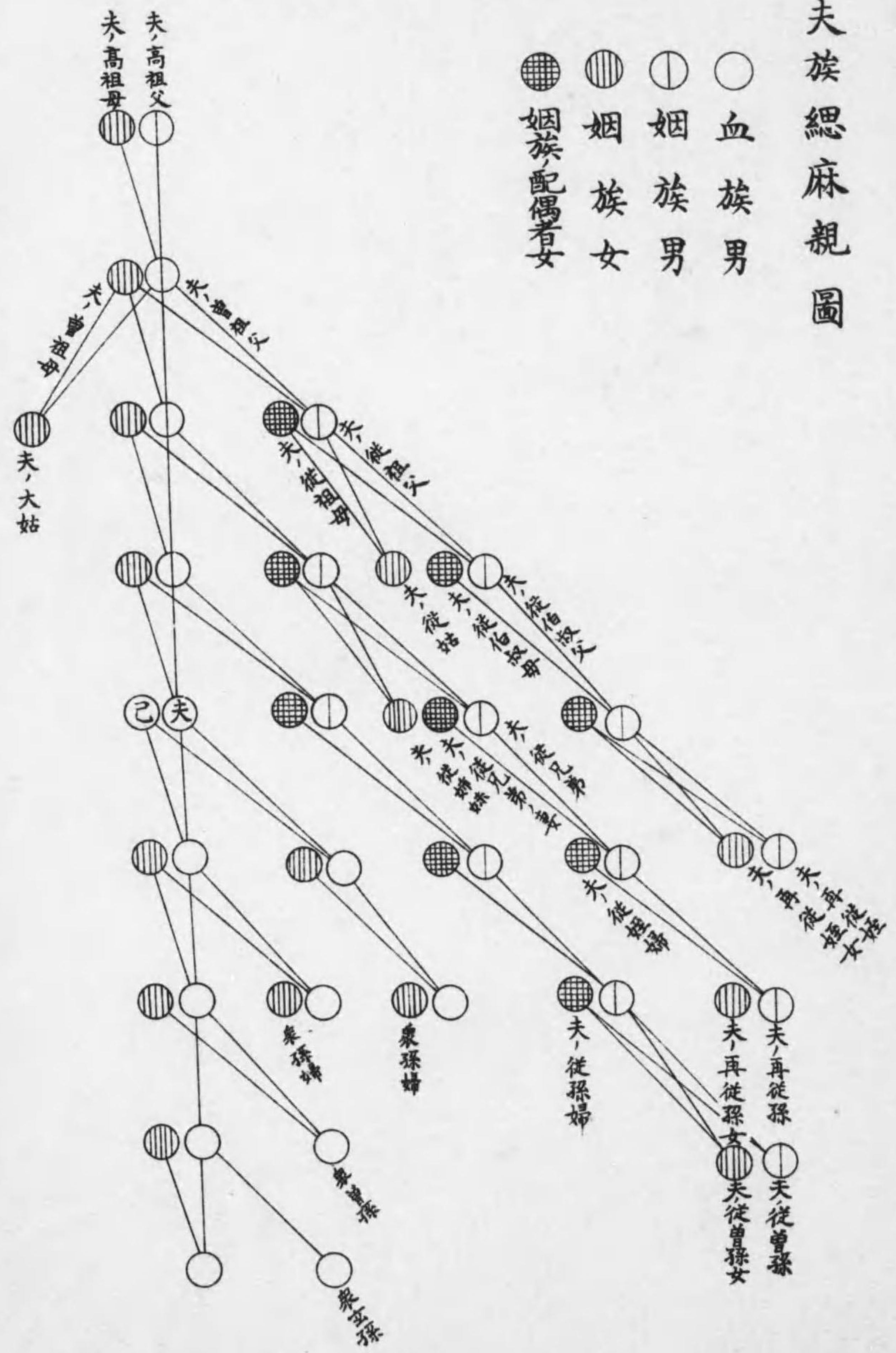
夫族小功親圖

- 血族男
- ◐ 姻族男
- ◑ 姻族女
- ◒ 姻族, 配偶者女



夫族總麻親圖

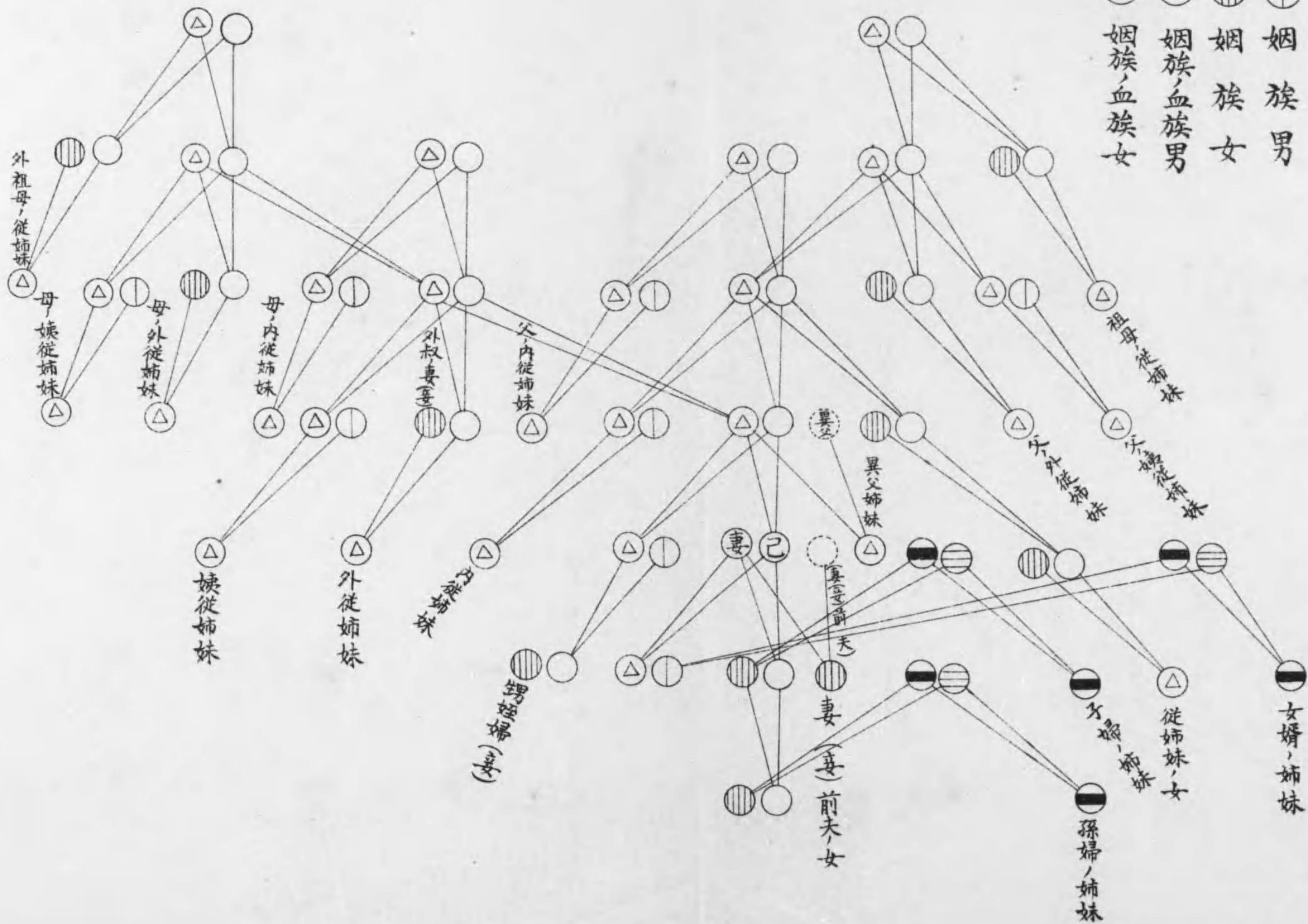
- 血族男
- 姻族男
- 姻族女
- 姻族配偶者女

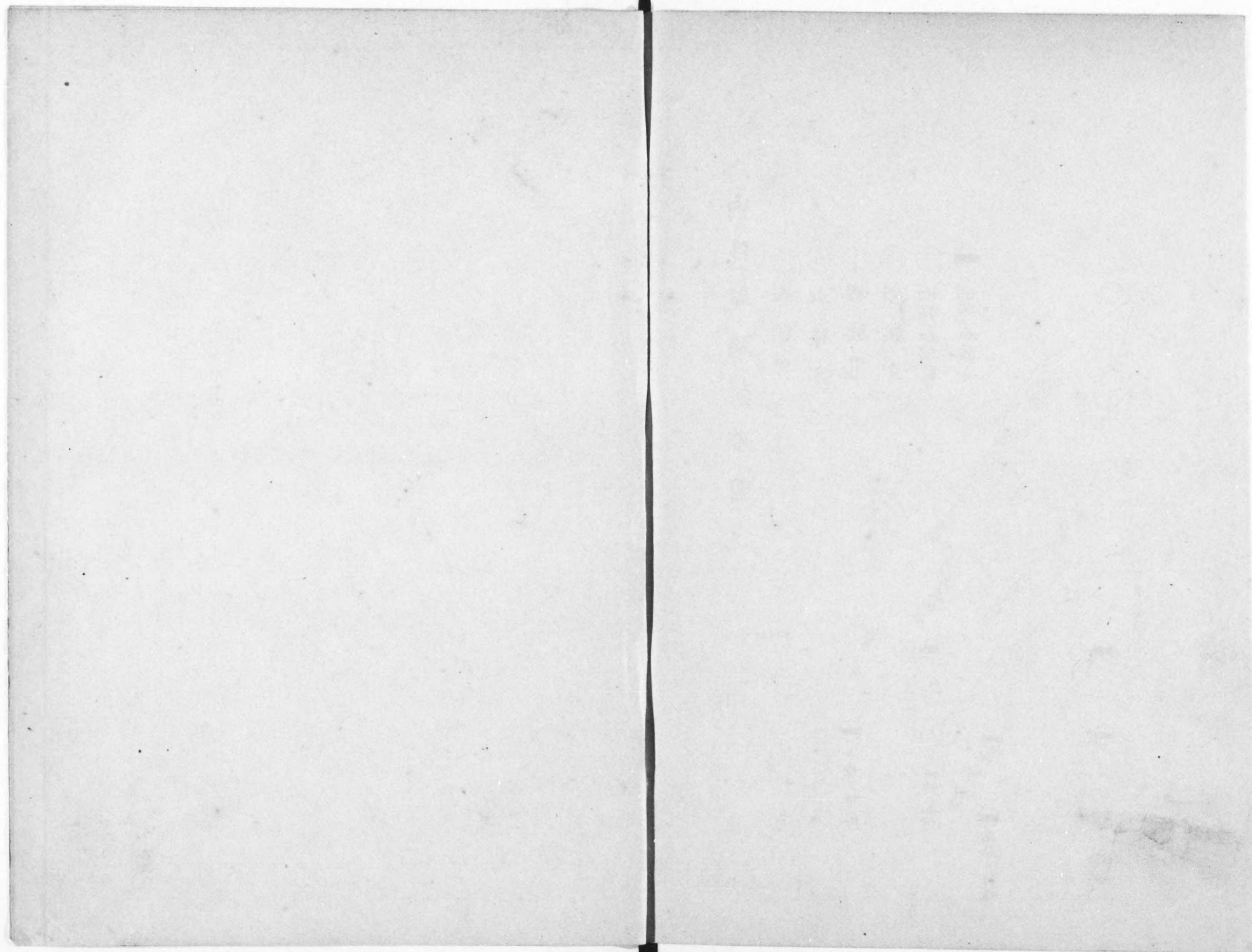


内
外
見

内外親族禁婚圖

- 血族男
- △ 血族女
- ◐ 姻族男
- ◑ 姻族女
- ◒ 姻族血族男
- ◓ 姻族血族女





NANYODO BOOK-STORE
MOTOMACHI HONGO
TOKYO

店本堂陽南

949

155

終